

基本事業名	幼稚園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	幼稚園児及び保護者								
基本事業コード	411-01-01			目的	人間性や社会性の基礎を培い、健やかな成長を育む。								
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち											
施策	1	子育て支援											
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		幼稚園施設改修事業					事務事業コード		411-01-01											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	1	0	項	4	目	1	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立幼稚園8園																		
	目的(どうしたいのか)	耐震改修及び施設修繕を行い、安全な保育環境を確保する。																		
	手段(事業内容)	市立幼稚園のうち、老朽化している園舎修繕及び改修を行う。																		
特記事項	【事業費】 修繕費：1,617千円 原材料費：44千円																			
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度	実施の方向性		実施										
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	1,395	1,949	1,622		有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等					効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	市立幼稚園修繕相談箇所数			単位	箇所		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	各園修繕が必要な箇所について相談があった。						68	67	55									
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	市立幼稚園修繕対応箇所数			単位	箇所		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	予算の範囲内で、安全上直ちに必要箇所を修繕した。						57	50	54										

基本事業名	幼稚園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	幼稚園児及び保護者								
基本事業コード	411-01-02			目的	人間性や社会性の基礎を培い、健やかな成長を育む。								
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		総合基本計画 目標指標									
施策	1	子育て支援											
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		幼稚園運営事務事業					事務事業コード		411-01-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	1	0	項	4	目	1	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	幼稚園児及び保護者																	
	目的(どうしたいのか)	安全で快適な幼稚園生活を提供し、楽しいことがいっぱい幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。																	
	手段(事業内容)	カリキュラムに応じて幼稚園備品や消耗品の購入の他、施設営繕及び各種施設の保守点検や施設維持管理を継続して実施する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施									
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	50,068	54,666	21,258			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等	1,165	1,928	0			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	市立幼稚園数			単位	園		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明		市内幼稚園を適正に管理する						9		8	8								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	市立幼稚園数			単位	園		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	適正に管理できた園の数							9	8	8								

基本事業名		保育園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保育園児及び保護者							
基本事業コード	411-02-01		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	園児の健やかな成長を育むとともに、仕事と子育てを両立できる環境を確保する。							
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	1	子育て支援		保育所待機児童数		人	0	0	0				
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		公立保育所運営事務事業					事務事業コード		411-02-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	6	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保育園児及び保護者																	
	目的(どうしたいのか)	安全で快適な保育を提供し、楽しいことがいっぱいの幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。																	
	手段(事業内容)	公立保育所を適正に運営し、保育を実施する。																	
特記事項	【事業費】 保育施設管理：20,537千円 保育所運営：41,225千円																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	66,306	59,687	61,762		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	公立保育所等への入所申込者数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	公立保育所を第1希望とする人数						64	41	66								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	公立保育所数			単位	園	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度									
	指標の説明	公立保育所を適正に運営する。						4	3	3									

基本事業名	保育園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保育園児及び保護者								
基本事業コード	411-02-02			目的	園児の健やかな成長を育むとともに、仕事と子育てを両立できる環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援		保育所待機児童数		人	0	0	0				
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		公立保育所施設整備事業					事務事業コード		411-02-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	6	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	公立保育園																	
	目的(どうしたいのか)	安全な保育環境を確保する。																	
	手段(事業内容)	老朽化している園舎の修繕や、待機児童の解消のための施設改修等を行う。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度		実施の方向性			実施							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	3,056	3,804	4,143		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	市立保育園4園修繕相談箇所数			単位	箇所	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	各園修繕が必要な箇所について相談があった。					77	92	80									
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	市立保育園4園修繕対応箇所数			単位	箇所	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明		予算の範囲内において、最低限必要な箇所を修繕した。					68	85	80										

基本事業名	保育園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保育園児及び保護者					
基本事業コード	411-02-03			目的	園児の健やかな成長を育むとともに、仕事と子育てを両立できる環境を確保する。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援		保育所待機児童数		人	0	0	0	
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援								
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー		
	10	不平等								
							16	平和	17	実施手段
										-

事務事業名		民間保育所運営事務事業					事務事業コード		411-02-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	2	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童																
	目的(どうしたいのか)	必要な保育を安全かつ安定的に提供する。																
	手段(事業内容)	民間保育所等において保育需要に対応する他、利用する児童の処遇改善等を目的とした単独補助事業を実施する。																
特記事項	【事業費】 児童福祉施設委託料1,861,540千円 民間運営費補助金151,124千円 【特定財源】 利用者負担金(調定額)49,457千円 国庫負担金869,828千円 府費負担金343,276千円																	
総計に基づく 事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	1,674,500	1,790,110	2,012,664		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等	1,164,335	1,190,404	1,262,561		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	民間保育所運営補助件数			単位	件	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明							10	10	10							
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	適正な運営を行った民間保育所数			単位	園	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明							10		10	10								

基本事業名	保育園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保育園児及び保護者													
基本事業コード	411-02-04			目的	園児の健やかな成長を育むとともに、仕事と子育てを両立できる環境を確保する。													
第6次羽曳野市総合基本計画																		
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)									
施策	1	子育て支援		保育所待機児童数		人	0	0	0									
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援																
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり																
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり																
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり																
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー										
	10	不平等									16	平和	17	実施手段				-

事務事業名		民間保育所施設整備事業					事務事業コード		411-02-04					
継続・新規	隔年または不定期	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内民間保育園												
	目的(どうしたいのか)	子どもを安心して育てることが出来る体制の整備を促進することを目的とする												
	手段(事業内容)	老朽改築による保育環境整備などの保育所の施設整備に要する費用の一部を補助する												
特記事項	【事業費】 安心こども基金事業費補助金 高鷲保育園：19,263千円 くすみ共同保育園：34,500千円 【特定財源等】 安心こども基金特別対策事業費補助金 46,242千円													
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施						

基本事業名	保育園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保育園児及び保護者								
基本事業コード	411-02-05			目的	園児の健やかな成長を育むとともに、仕事と子育てを両立できる環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援		保育所待機児童数		人	0	0	0				
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		子どものための教育・保育施設支給認定業務					事務事業コード		411-02-05				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育・保育を受ける就学前児童											
	目的(どうしたいのか)	教育・保育を提供するために保育の必要性や必要量を判定する。											
	手段(事業内容)	保護者からの申請に応じて審査を行い、通知を行う。また、日中、保護者の就労等により保育が必要な児童には、利用調整を行い、保育施設の入園の決定を行う。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	-	達成・終了	R7年度	実施の方向性	-							

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者					
基本事業コード	411-03-01			目的	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援								
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援								
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー		
	10	不平等								
							16	平和	17	実施手段
										-

事務事業名		幼保一元化推進事業					事務事業コード		411-03-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	10	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	就学前児童																
	目的(どうしたいのか)	多様化する子育て支援ニーズに対応するため、就学前児童の教育・保育を一体的・総合的に推進するため、幼稚園・保育所・認定こども園が連携してお互いの情報・識見の共有と相互理解を深める。																
	手段(事業内容)	公立の幼保連携型認定こども園において、今後共通としていくカリキュラムの作成を通して幼稚園教諭・保育士の交流を図り、研修機会を充実させ、職員の質の向上に努める。																
特記事項																		
総計に基づく 事業の進捗状況	(R6年度)	-	達成・終了			R7年度	実施の方向性		-									
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性											
	決算額	事業費	422	176	0		有効性											
		特定財源等					効率性											
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	職員研修の回数			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	幼保共通カリキュラム作成委員研修の実施回数							1	0							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	職員研修の回数			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	幼保共通カリキュラム作成委員研修の実施回数							1	0								

基本事業名	就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者								
基本事業コード	411-03-04	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	1		子育て支援										
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		民間こども園施設整備支援事業				事務事業コード		411-03-04						
継続・新規	隔年または不定期	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内民間認定こども園												
	目的(どうしたいのか)	子どもを安心して育てることが出来る体制の整備を促進することを目的とする												
	手段(事業内容)	施設整備に要する費用の一部を補助する												
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	E	未実施(開始見込み無し)		R7年度	実施の方向性		-						

基本事業名	就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者								
基本事業コード	411-03-05			目的	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援											
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		公立認定こども園運営事務事業						事務事業コード		411-03-05									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	10	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	就学前児童及び保護者																
		目的(どうしたいのか)	就学前の子どもの成長発達に応じた教育・保育を一体的に行い、心と体、意欲や規範意識などを培い、たくましく生きる力の基礎を育成する。																
		手段(事業内容)	1号認定児(幼稚園)と2号認定児(保育園)が共に学ぶ環境の中で、認定こども園教育・保育要領に沿った総合的な指導を行う。																
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である			R7年度	実施の方向性			実施				特記事項 【事業費】 認定こども園運営：175,473千円 認定こども園保健衛生：2,014千円 認定こども園教育活性化：661千円				
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度			個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	103,840	118,246	178,148				有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等							効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	公立認定こども園の職員配置人数			単位	人		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	法令で定める基準にそれぞれ配置しており、教育・保育サービスを適正に提供する。					34			38	39								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	公立認定こども園への入園申込者数			単位	人		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	公立認定こども園を第1希望とする人数					94			38	64								

基本事業名	就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者								
基本事業コード	411-03-06	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時（総計）	R5年度 現状値（総計）	R7年度 目標（総計）			
施策	1		子育て支援										
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		公立認定こども園管理事務事業						事務事業コード		411-03-06									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	10	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	公立認定こども園																	
	目的（どうしたいのか）	多様な子育てニーズに対応する、園の円滑な運営に資するため。																	
	手段（事業内容）	施設の維持に必要となる様々な日常管理を実施する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度		実施の方向性			実施							
自己評価	(単位：千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費	24,522		24,688		27,414			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
		特定財源等								効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	市立こども園数				単位	園		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
		指標の説明	市立こども園を適正に管理する。								2		2		2				
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	市立こども園数				単位	園		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
指標の説明		適正に管理できた園の数									2		2		2				

基本事業名	就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者								
基本事業コード	411-03-09			目的	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時（総計）	R5年度 現状値（総計）	R7年度 目標（総計）				
施策	1	子育て支援											
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		はびきのE-Kids!事業					事務事業コード		411-03-09											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）			予算科目	会計	1	款	1	0	項	4	目	1	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	市立幼稚園および市立こども園に在園する4歳児及び5歳児																		
	目的（どうしたいのか）	幼児期において、英語を楽しみながら体験することで、自然に無理なく英語を学びながら、ネイティブな発音や外国文化に触れられる機会を提供し、英語力やグローバルな視野の基礎づくりに寄与する。																		
	手段（事業内容）	園の課内授業として、外国人講師と市職員による英会話の体験教室を実施する。																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度	実施の方向性		実施					特記事項					
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
	決算額	事業費	892	1,051	1,077		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	開催コマ数			単位	コマ	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度									
	指標の説明	各園にて実施した教室のコマ数							79	95	92									
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	参加園児数（のべ人数）			単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度									
	指標の説明	外国人との交流を通じて英会話を体験した回数（人数）							914	1,381	1,338									

基本事業名		就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者								
基本事業コード		411-03-11			目的	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち												
施策	1	子育て支援												
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援												
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり												
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり												
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs		1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等												

事務事業名		第3公立認定こども園整備事業						事務事業コード		411-03-11									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	10	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	公立認定こども園																
		目的(どうしたいのか)	古市幼稚園、駒ヶ谷幼稚園、古市南幼稚園、下開保育園を統合し、現下開保育園付近に新たな公立認定こども園を整備する。																
		手段(事業内容)	設計、工事等の園舎整備																
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	D	遅れている	R7年度	実施の方向性	完了見込				特記事項								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費			119,800		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等			0		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	開園に向けた工程の進捗管理			単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明										20							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	開園に向けた工程の進捗管理			単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明										10								

基本事業名		就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者							
基本事業コード	411-03-12		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。							
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時（総計）	R5年度 現状値（総計）	R7年度 目標（総計）			
施策	1	子育て支援											
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		(仮称) 第4こども園整備事業					事務事業コード		411-03-12									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務（任意のもの）		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	10	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要		対象（誰を・何を）	西浦東幼稚園、白鳥幼稚園、西浦幼稚園及び軽里保育園の4施設										特記事項					
		目的（どうしたいのか）	令和10年度に（仮称）第4こども園に再編・統合する															
		手段（事業内容）	整備方針や、その実現に向けた事業手法等について検討した上で、最適な事業手法を選定し、事業の実施方針等を定める															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費			8,426			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等			0			効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名				単位			指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
		指標の説明																
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名				単位			指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明																

基本事業名	子どもの権利擁護の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童								
基本事業コード	411-04-01			目的	子どもの基本的人権を補償する。								
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち											
施策	1	子育て支援											
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		家庭児童相談事業				事務事業コード		411-04-01						
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	子ども家庭支援課	R7	子ども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	18歳未満の児童とその家族、及び妊婦												
	目的(どうしたいのか)	安心して産み育てられる育児への援助												
	手段(事業内容)	子育てに関する相談等、短期の施設での児童の預かりなどを行う等。												
総計に基づく 事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費					有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	相談対応行動件数			単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
		指標の説明	家庭児童相談担当が把握しているケースに対して実施した行動(訪問・電話・会議等)の件数						7,944	7,860				
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名				単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
指標の説明														

基本事業名	子どもの権利擁護の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童								
基本事業コード	411-04-02			目的	子どもの基本的人権を補償する。								
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち											
施策	1	子育て支援											
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
		(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		児童虐待防止・対策事業						事務事業コード		411-04-02					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども家庭支援課	R7	こども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童及び児童に関わる成人													
	目的(どうしたいのか)	児童に対する虐待を防止する。													
	手段(事業内容)	虐待防止推進活動として、啓発活動、相談業務、虐待対応、養育支援等を行う。													
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である			R7年度	実施の方向性		実施						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費					有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	相談対応行動件数			単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
		指標の説明	家庭児童相談担当が把握しているケースに対して実施した行動(訪問・電話・会議等)の件数						7,944	7,860					
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名				単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
指標の説明															

基本事業名	すべての子どもの育ちへの支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童									
基本事業コード	411-05-01			目的	心身ともに健やかに育つ環境づくり・仕組みづくりを図る。									
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち												
施策	1	子育て支援												
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援												
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー		16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等												

事務事業名		ダルビッシュ有子ども福祉基金管理運用事務事業						事務事業コード		411-05-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	1	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子ども																	
	目的(どうしたいのか)	「ダルビッシュ有こども福祉基金」を活用して、子どもたちの心身の健やかな成長に寄与する。																	
	手段(事業内容)	①ダルビッシュ有選手からの寄附金(公式戦で1勝すごとに10万円寄附)を基金に積立て、子どもの福祉に役立つ事業へ活用【こんには赤ちゃん事業として子育て安心ファイルの配布、中央図書館にダルビッシュ有文庫を開設し、スポーツ関連の書籍を配架、市内児童擁護福祉施設の子どもたちをぶどう狩りに招待など】																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度	実施の方向性			実施								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	20,845	35,640	39,200		有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等	20,845	35,640	39,200		効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	ダルビッシュ有文庫貸出数			単位	冊		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度					
		指標の説明	中央図書館内特設ブースにあるダルビッシュ有文庫の年間貸出数									1,027	1,047	1,163					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	年度末基金残高			単位	千円		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	年度末基金残高(5月末現在)									37,636	42,631	30,629						

基本事業名	すべての子どもの育ちへの支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童												
基本事業コード	411-05-02			目的	心身ともに健やかに育つ環境づくり・仕組みづくりを図る。												
第6次羽曳野市総合基本計画																	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)								
施策	1	子育て支援															
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援															
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり															
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり															
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり															
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー									
	10	不平等									16	平和	17	実施手段			-

事務事業名		こども夢プラン進行管理事務事業					事務事業コード		411-05-02				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民											
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市子ども・子育て支援事業計画、羽曳野市次世代育成支援行動計画、羽曳野市母子保健計画(はびきのこども夢プラン)の着実な推進。											
	手段(事業内容)	本計画を実行性のあるものとして着実に展開していくため、年度ごとに関係各課の施策や事業の実施状況を把握するとともに、庁内連携強化に努める。また、羽曳野市こども夢プラン推進委員会に施策や事業の進捗状況を報告したうえで、市のウェブサイト等を通じて市民に公表する。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							
特記事項 令和6年度に、第2期はびきのこども夢プランに含まれている計画の改定に加え、こども計画、子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画を包含した「第3期はびきのこども夢プラン」を策定した。 令和7年度からは、「第3期はびきのこども夢プラン」の着実な推進を目的とする。													

基本事業名	子育て家庭への経済的支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者												
基本事業コード	412-01-01			目的	育児負担の軽減を図る。												
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標														
施策	1	子育て支援															
施策の方向	2	子育て家庭への支援															
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり															
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり															
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり															
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー									
	10	不平等								16	平和	17	実施手段	-			

事務事業名		児童手当給付事務事業					事務事業コード		412-01-01							
継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課		
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	高校生年代終了まで(18歳に達する日以後の最初の3月31日まで)の児童を養育している人														
	目的(どうしたいのか)	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。														
	手段(事業内容)	子ども一人につき月額0歳から3歳まで15,000円、3歳から高校生年代まで10,000円、第3子以降30,000円を養育者に支給。														
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施								
													特記事項	令和6年10月より制度改正 ①所得制限の撤廃 ②支給期間の延長 ③第3子加算の拡充 ④支給月の拡充		

基本事業名	子育て家庭への経済的支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	412-01-02	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	育児負担の軽減を図る。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	1		子育て支援										
施策の方向	2	子育て家庭への支援	総合基本計画 目標指標										
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		児童扶養手当給付事務事業					事務事業コード		412-01-02				
継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	18歳に達する日以後の最初の3月31日(児童に政令で定める程度の障がいがある場合は、20歳未満)までの児童を養育するひとり親家庭の母・父等で、所得が一定未満の人。											
	目的(どうしたいのか)	ひとり親家庭等の家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の健全な育成を図る。											
	手段(事業内容)	手当の月額、請求者等の所得によって、全部支給・一部支給が決まる。支給月は、2ヶ月に1回奇数月。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							

基本事業名	子育て家庭への経済的支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	412-01-03	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	育児負担の軽減を図る。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	1		子育て支援										
施策の方向	2	子育て家庭への支援	総合基本計画 目標指標										
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		特別児童扶養手当給付事務事業					事務事業コード		412-01-03				
継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	20歳未満の政令で規定する障害の状態にある児童を、監護または養育する一定所得基準内の人											
	目的(どうしたいのか)	児童の福祉の増進を図る。											
	手段(事業内容)	各種提出書類の受付、通知書等の送付、所得状況確認等、円滑な支給のための事務を行っています。(受給資格及び障がいの程度については、大阪府が審査します。)											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							

基本事業名	子育て家庭への経済的支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	412-01-04			目的	育児負担の軽減を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援											
施策の方向	2	子育て家庭への支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		助産施設入所事務事業					事務事業コード		412-01-04										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	5	担当	R6	こども家庭支援課	R7	こども家庭支援課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	経済的に困窮している妊婦																
		目的(どうしたいのか)	経済的に困窮している妊婦が安心して出産できるようにする。																
		手段(事業内容)	出産費用の補助(分娩介助料、入院費用等含み概ね一件あたり30万円~100万円)																
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	B	概ね順調である			R7年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費		1,433	3,110		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等		886	1,660		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	助産施設措置件数		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
			指標の説明	助産制度の申請があった件数のうち、羽曳野市が支弁した助産施設措置件数								4	8						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名			単位		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明																	

基本事業名	子育て家庭への経済的支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	412-01-06			目的	育児負担の軽減を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標										
施策	1	子育て支援											
施策の方向	2	子育て家庭への支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		養育費確保支援事業					事務事業コード		412-01-06										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	2	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	ひとり親																	
	目的(どうしたいのか)	養育費の取り決めや継続的な履行確保に向けた支援を目的として行う。																	
	手段(事業内容)	養育費に関する公正証書等作成にかかる本人負担費用の補助及び保証会社と養育費保証契約を締結する際に要する費用のうち、保証料として本人が負担した費用の補助を行う。																	
特記事項																			
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度		実施の方向性			実施							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費	7		38		188			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
		特定財源等	3		38		188			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	養育費の履行確保等支援数				単位	件		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	指標の説明	公正証書等作成補助及び養育費保証契約における保証料補助に係る件数								指標実績		1	3	8					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	養育費の履行確保等支援受給率				単位	%		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	申請者のうち受給資格のある方に対する受給割合								指標実績		100	100	100					

基本事業名		子育て家庭への経済的支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者							
基本事業コード	412-01-07		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	育児負担の軽減を図る。							
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策	1	子育て支援											
施策の方向	2	子育て家庭への支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		多子世帯保育料軽減事業					事務事業コード		412-01-07										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	2	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	公立・私立認可保育施設・認定こども園にかかる0～2歳児の保育料																	
	目的(どうしたいのか)	物価高騰の影響を受ける多子世帯の負担軽減を図るため。																	
	手段(事業内容)	国の多子軽減の所得制限等に関わらず、すべての世帯の第2子半額、第3子以降を無償化する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度		実施の方向性			実施							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費					93,769			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
		特定財源等					58,000			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	対象世帯数				単位	世帯		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	指標の説明	対象世帯数										419							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	対象人数				単位	人		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	対象人数										423							

基本事業名	仕事と子育てを両立できる環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	412-02-01			目的	多様化するニーズにあわせた保育サービスの充実を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援											
施策の方向	2	子育て家庭への支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		ひとり親家庭自立支援事業					事務事業コード		412-02-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	2	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	母子家庭の母・父子家庭の父で児童扶養手当受給者等																
	目的(どうしたいのか)	ひとり親家庭の自立の促進を図る。																
	手段(事業内容)	母子・父子・寡婦福祉資金の貸し付け(大阪府へ進達)や就労に関する相談業務等を行い、就業支援事業として高等職業訓練促進給付金事業等を実施している。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	17,160	16,543	9,905		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等	14,180	16,543	9,905		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	母子家庭等対策総合事業受給者数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	年間延べ高等職業訓練促進給付金事業等の件数						28	22	15								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	母子家庭等対策総合事業受給率			単位	%	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	申請者のうち受給資格のある方に対する受給割合						100	100	100								

基本事業名	仕事と子育てを両立できる環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者				
基本事業コード	412-02-02			目的	多様化するニーズにあわせた保育サービスの充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標						
施策	1	子育て支援							
施策の方向	2	子育て家庭への支援							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs	1 貧困 10 不平等		3 保健	4 教育	5 ジェンダー			16 平和 17 実施手段	-

事務事業名		一時預かり事業					事務事業コード		412-02-02									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	2	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	突発的な要因の他、育児等に伴う心理的・肉体的負担等を抱える保護者															
		目的(どうしたいのか)	保護者の継続的・短時間就労などや、専業主婦家庭などの育児疲れ、急病や入院などともなう心理的・肉体的負担を解消するために実施する。															
		手段(事業内容)	市内の民間保育施設4園、公立こども園2園、公立幼稚園1園の計7園で本事業を実施し、保護者の負担軽減に努める。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施		特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	16,939	17,077	19,407			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等	11,292	11,384	12,938			効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	一時預かり事業実施施設数		単位	箇所	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	一時預かり事業実施施設数						8	8	8							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	一時預かり事業利用者数		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	一時預かり事業利用者数						9,115	11,585	8,329							

基本事業名	仕事と子育てを両立できる環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	412-02-03			目的	多様化するニーズにあわせた保育サービスの充実を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援											
施策の方向	2	子育て家庭への支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		延長保育事業						事務事業コード		412-02-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	2	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保育を必要とする保護者																	
	目的(どうしたいのか)	保護者の就労形態の多様化などにもない保育時間の園長に対するニーズに対応できるよう民間保育施設において、保育認定を受けた時間外に保育が必要となった場合に対応する。																	
	手段(事業内容)	民間保育所に対し、事業実施に必要な費用として、補助金を交付する。(国府負担あり)																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施				特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費	4,072		4,071		7,980			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
		特定財源等	2,714		2,714		5,320			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	延長保育を実施する民間保育施設				単位	園		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
		指標の説明	延長保育を実施した施設数						10		10		10						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	補助金を交付した民間保育施設				単位	園		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度					
	指標の説明	事業実施に伴う補助金交付施設数						10		10		10							

基本事業名	仕事と子育てを両立できる環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者						
基本事業コード	412-02-04			目的	多様化するニーズにあわせた保育サービスの充実を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時（総計）	R5年度 現状値（総計）	R7年度 目標（総計）		
施策	1	子育て支援									
施策の方向	2	子育て家庭への支援									
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー			
	10	不平等									
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		病後児保育事業					事務事業コード		412-02-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	8	担当	R6	こども保育課	R7	こども保育課
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	病気の回復期等であることから集団保育が困難な児童																
	目的（どうしたいのか）	病気回復期にある入院治療の必要のない児童が、保護者の就労や傷病、事故などの理由により家庭での養育が一時的に困難になった場合、児童を一時的に保育する。																
	手段（事業内容）	事業実施団体に運営費補助金を交付する。（国府負担あり）																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施			特記事項					
自己評価	(単位：千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費	8,016		9,914		9,813			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等	5,344		6,608		6,542			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	事業実施施設数			単位	箇所		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
		指標の説明								1		1		1				
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	利用児童数			単位	人		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度					
	指標の説明								284		491		375					

基本事業名	きめ細やかな保育・子育てサービスの提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	412-03-02			目的	安心して子育てできる環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援											
施策の方向	2	子育て家庭への支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		子育て短期支援事業					事務事業コード		412-03-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	1	担当	R6	こども家庭支援課	R7	こども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	事情がある家庭の児童																	
	目的(どうしたいのか)	夜間放置等の児童虐待を防止する。																	
	手段(事業内容)	児童養護施設にて短期間の児童の一時預かり(1週間を限度とする。)																	
特記事項	契約施設: 6施設																		
総計に基づく 事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である			R7年度	実施の方向性		実施										
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費		588	570		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等		293	380		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	子育て短期支援事業の利用日数			単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度									
指標の説明		子育て短期支援事業の利用日数						150	107										
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名				単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度										
	指標の説明																		

基本事業名	きめ細やかな保育・子育てサービスの提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者							
基本事業コード	412-03-03			目的	安心して子育てできる環境を確保する。							
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち										
施策	1	子育て支援										
施策の方向	2	子育て家庭への支援										
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり										
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり										
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり										
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー				
	10	不平等							16	平和	17	実施手段

事務事業名		育児支援家庭訪問事業						事務事業コード		412-03-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	1	担当	R6	こども家庭支援課	R7	こども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	第2子以降を出生した家庭																	
	目的(どうしたいのか)	新生児家庭を訪問することにより、安心して育児を行えるようにする。																	
	手段(事業内容)	出生後家庭を保育士が訪問することにより、家庭の状況を把握し、新生児育児への適切な援助を行なう。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施		特記事項 報酬等 会計年度任用職員(保育士:月払) 2名 【特定財源】 子ども・子育て支援交付金(国) 1,022千円 (府) 1,022千円							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費					4,255			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等					2,044			効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	訪問件数			単位	人		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度					
		指標の説明												268					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	訪問成立率			単位	%		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度						
	指標の説明												97.3						

基本事業名	きめ細やかな保育・子育てサービスの提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者					
基本事業コード	412-03-04			目的	安心して子育てできる環境を確保する。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	子育て支援								
施策の方向	2	子育て家庭への支援								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
		○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
		○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー		
	10	不平等							16	平和
									17	実施手段
										-

事務事業名		赤ちゃんの駅設置事業					事務事業コード		412-03-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	8	担当	R6	子ども家庭支援課	R7	子ども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	外出中の乳幼児及びその保護者																
	目的(どうしたいのか)	おむつ替え又は授乳のできる施設を登録し、広く公表することにより、子育て中の親子が安心して外出できる環境の整備を図り、地域社会全体で子育てを支えるやさしいまちづくりを推進することを目的としている。																
	手段(事業内容)	①赤ちゃんの駅事業 基準を満たす施設を赤ちゃんの駅として登録し、無料で場所の提供をしてもらう事業。②移動式赤ちゃんの駅貸出事業 市内イベントにテント、おむつ交換台等を貸し出す事業。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B		概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費			0		有効性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
		特定財源等			0		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	赤ちゃんの駅登録施設数			単位	箇所	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	赤ちゃんの駅登録施設数					指標実績		29	29	29							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	赤ちゃんの駅登録施設数			単位	箇所	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	赤ちゃんの駅登録施設数					指標実績		29	29	29							

基本事業名	きめ細やかな保育・子育てサービスの提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者						
基本事業コード	412-03-07			目的	安心して子育てできる環境を確保する。						
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策	1	子育て支援									
施策の方向	2	子育て家庭への支援									
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー			
	10	不平等					16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		ペアレント・トレーニング実施事業				事務事業コード		412-03-07							
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	子ども家庭支援課	R7	子ども家庭支援課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	虐待(マルトリートメント)に至ってしまった保護者												
		目的(どうしたいのか)	再び虐待に至らず適切な養育を提供できるようにする												
		手段(事業内容)	マイツリーペアレンツプログラムを実施し、適切な養育の方法について学ぶ												
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる					
	決算額	事業費			498			有効性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる					
		特定財源等						効率性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	参加者			単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			指標の説明	マイツリーペアレンツプログラムに参加し、コースを修了した人数										3	
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名				単位		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
		指標の説明													

基本事業名	きめ細やかな保育・子育てサービスの提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者					
基本事業コード	412-03-08			目的	安心して子育てできる環境を確保する。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援								
施策の方向	2	子育て家庭への支援								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー		
	10	不平等								
							16	平和	17	実施手段
										-

事務事業名		子育て世帯訪問支援事業					事務事業コード		412-03-08									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	8	担当	R6	子ども家庭支援課	R7	子ども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	家事育児に対して不安や負担を抱える子育て世帯やヤングケアラー等がいる家庭																
	目的(どうしたいのか)	育児・家事負担の軽減を図る																
	手段(事業内容)	訪問支援員が家庭訪問し、利用世帯のニーズに対して支援を実施する																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B		概ね順調である		R7年度		実施の方向性		実施			【事業費】 業務委託料: 2,354千円 (NPO法人サポートネットワークぬくもり) 【特定税源】 子ども子育て支援交付金 532千円					
自己評価	(単位: 千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費					2,354			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
		特定財源等					532			効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	子育て世帯訪問支援事業の利用件数				単位		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標の説明	子育て世帯訪問支援事業の利用件数									65							
	指標名					単位		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明																	

基本事業名	子育てに関する情報の発信		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者等								
基本事業コード	412-04-02			目的	制度や各種サービスに係る周知を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画													
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	1	子育て支援		はびきの子育てネット閲覧回数		回	66,000	事業終了	200,000				
施策の方向	2	子育て家庭への支援											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		子育てガイドブック策定事業					事務事業コード		412-04-02						
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子育て中の保護者													
	目的(どうしたいのか)	子育てに関する情報をまとめたガイドブックを配布することで、地域の子育てを支援する。													
	手段(事業内容)	市の子育て支援サービス、外出先や子育てに関する施設の一部を紹介したガイドブックを配布し、妊娠期から子育て期の保護者が子育ての喜びや楽しみを共感し、悩みや不安を解消することを支援する。													
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施					特記事項		
自己評価	(単位:千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費				有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	発行回数		単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	1年間で発行した回数					1	1	1						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	発行部数		単位	部	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	1年間で発行した部数					4,000	4,000	4,200						

基本事業名	地域子育て支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	413-01-01			目的	地域で孤立することなく、楽しく子育てできる環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		総合基本計画 目標指標									
施策	1	子育て支援											
施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		地域子育て支援拠点事業					事務事業コード		413-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	8	担当	R6	子ども家庭支援課	R7	子ども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	地域の乳幼児及びその保護者																	
	目的(どうしたいのか)	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。																	
	手段(事業内容)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行っている。具体的には、子育て講座、サークル支援、年齢別親子教室や親子で楽しめるイベントなどを開催している。																	
特記事項	【事業費】 委託料：22,202千円 3施設：13,488千円 1施設：8,714千円 【特定財源】 子ども・子育て支援交付金 国庫負担金：12,146千円(人件費含む) 府費負担金：12,145千円(人件費含む)																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である			R7年度	実施の方向性		実施										
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	20,995	21,815	22,202		有効性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる										
		特定財源等	23,028	23,896	24,291		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	箇所数			単位	箇所	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	箇所数						6	6	6								
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	1日平均利用親子組数			単位	組	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
指標の説明		1日あたりに利用した親子組数の平均					27		40	38									

基本事業名	地域子育て支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者				
基本事業コード	413-01-02			目的	地域で孤立することなく、楽しく子育てできる環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	1	子育て支援							
施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実							
まちづくりの 戦略	<input type="radio"/>	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	<input type="radio"/>	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	<input type="radio"/>	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	
	10	不平等							
						16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		古市複合館管理事務事業					事務事業コード		413-01-02					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	古市複合館(子育て支援センターふるいち、図書館、青少年センター)												
	目的(どうしたいのか)	地域の子育てと青少年活動の拠点とする。												
	手段(事業内容)	市長及び教育委員会が管理する施設とし、別に条例で定める子育て支援センター、図書館及び青少年センターをあわせて管理する。												
総計に基づく 事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項			

基本事業名	地域子育て支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者								
基本事業コード	413-01-03			目的	地域で孤立することなく、楽しく子育てできる環境を確保する。								
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)					
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標										
施策	1	子育て支援											
施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実											
まちづくりの戦略	<input type="radio"/> (1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり <input type="radio"/> (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり <input type="radio"/> (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	5	ジェンダー	16	平和	17	実施手段	-
	10	不平等											

事務事業名		ファミリーサポートセンター運営事務事業						事務事業コード		413-01-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	8	担当	R6	子育て支援センターふるいち	R7	子育て支援センターふるいち
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	依頼会員・協会員ともに、市内在住の生後3か月から小学6年生までの子どものいる方																	
	目的(どうしたいのか)	子育ての援助をして欲しい人(依頼会員)と子育ての援助をしたい人(協会員)の相互援助活動により、地域の子育て支援の輪を広げることが目的としている。																	
	手段(事業内容)	センターは、依頼会員と協会員との連絡調整等を行う。援助を受けた依頼会員は協会員に報酬等を支払い、協会員は援助活動報告書をセンターに提出する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B		概ね順調である			R7年度	実施の方向性		実施				特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる								
	決算額	事業費	437	467	537			有効性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる								
		特定財源等						効率性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	登録会員数			単位	人		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	依頼会員、協会員、両方会員に登録している人数							118		121	133							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	援助活動件数			単位	件		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	依頼会員の子どもを協会員が保育した件数							257		492	713							

基本事業名	教育委員会の運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会				
基本事業コード	421-01-01			目的	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	%	児童85.4 生徒84	児童84.9 生徒80	児童90.0 生徒90	
施策	2	学校教育			将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合	%	児童84.1 生徒70	児童81.3 生徒64	児童90.0 生徒75
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	4 教育		16 平和	17 実施手段		-	

事務事業名		教育委員会運営事務事業				事務事業コード		421-01-01				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育委員会										
	目的(どうしたいのか)	教育委員会の権限に属する事務を円滑に処理する。										
	手段(事業内容)	教育に関する議案を審議するため、月1回の定例会や必要な時に臨時会を開催する。新教職員人事や規則の制定など、教育に関する一般方針の決定等を教育長及び4人の教育委員の合議制により行う。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施						
		特記事項 【R6年度教育委員会議開催回数】 ○定例会 12回										

基本事業名	教育委員会の運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会						
基本事業コード	421-01-02			目的	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策	2	学校教育		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合		%	児童85.4 生徒84.9	児童84.9 生徒80.0	児童90.0 生徒90.0		
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合		%	児童84.1 生徒70.0	児童81.3 生徒64.0	児童90.0 生徒75.0		
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs			4	教育							
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-	

事務事業名		評価委員会関連事務事業				事務事業コード		421-01-02				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育委員会										
	目的(どうしたいのか)	主要な施策や事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。										
	手段(事業内容)	教育委員会事務局にて、主要な施策や事務事業の点検・評価を行い、評価委員会の意見を聴取した上で、点検・評価の実施報告書を作成し、議会への報告及び市民への公表を行う。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施						

基本事業名	教育委員会の運営			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会					
基本事業コード	421-01-03				目的	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合		%	児童85.4 生徒84.9	児童84.9 生徒80.0	児童90.0 生徒90.0		
施策	2	学校教育		将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合		%	児童84.1 生徒70.0	児童81.3 生徒64.0	児童90.0 生徒75.0		
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進									
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs				4	教育						
		11	都市				16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		表彰関連事務事業					事務事業コード		421-01-03										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	項	1	目	1	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、職員及び団体																	
	目的(どうしたいのか)	教育委員会が表彰するのが適当であると認める成績、業績または行為のあったものの功績を称え表彰する。																	
	手段(事業内容)	羽曳野市教育委員会表彰規程に基づく基準を満たし、表彰審査会において審議を経た被表彰者に対し、毎年11月3日に表彰状及び記念品等を贈呈し表彰する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項 【令和6年度受賞者人数】 ○クラブ活動優良者表彰 6名 ○教育長特別表彰 4名							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	105	95	37		有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等			0		効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
自己評価	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	表彰回数		単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度									
		指標の説明	表彰を行った回数					1	1	1									
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	表彰件数		単位	件	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度									
		指標の説明	表彰を行った件数					19	18	10									

基本事業名	教育委員会の運営			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会					
基本事業コード	421-01-04				目的	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合		%	児童85.4 生徒84.9	児童84.9 生徒80.0	児童90.0 生徒90.0		
施策	2	学校教育		将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合		%	児童84.1 生徒70.0	児童81.3 生徒64.0	児童90.0 生徒75.0		
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進									
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs		11	都市	4	教育		16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		教育改革審議会運営事務事業					事務事業コード		421-01-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	1	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	教育改革審議会委員															
		目的(どうしたいのか)	子育て及び教育行政の新たな課題等の重要事項について調査審議する。															
		手段(事業内容)	専門的見地に立ち審議会委員が協議をしたうえ、審議会答申を作成し、今後の市の教育施策に反映させる。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		完了見込			特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費		322	442		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
自己評価	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	教育改革審議会開催回数		単位	回	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
			指標の説明	教育改革審議会開催回数							3	4						
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	教育改革審議会開催回数		単位	回	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
			指標の説明	教育改革審議会開催回数							3	4						

基本事業名	教育委員会の運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会				
基本事業コード	421-01-05			目的	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合		%	児童85.4 生徒84.9	児童84.9 生徒80.0	児童90.0 生徒90.0
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合		%	児童84.1 生徒70.0	児童81.3 生徒64.0	児童90.0 生徒75.0
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		教科書採択関連事務事業				事務事業コード		421-01-05	
継続・新規	隔年または不定期	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R6
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育委員、市立小中学校及び義務教育学校教職員							特記事項
	目的(どうしたいのか)	公正な手続きのもと、羽曳野市の子どもたちにとって最も適した教科書を採択し、学習基盤を整える。							
	手段(事業内容)	専門的見地に立った十分な調査・研究を調査員が行い、それを踏まえて、市民としての意見も反映したうえ、選定委員会での答申を作成する。							
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	-			

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

基本事業名	教育委員会の運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会					
基本事業コード	421-01-06			目的	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合		%	児童85.4 生徒84.9	児童84.9 生徒80.0	児童90.0 生徒90.0	
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合		%	児童84.1 生徒70.0	児童81.3 生徒64.0	児童90.0 生徒75.0	
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		教育振興基金管理運用事務事業				事務事業コード		421-01-06						
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育振興基金												
	目的(どうしたいのか)	教育の振興を図る。												
	手段(事業内容)	寄附金及び利子収入を基金に積み立て、教育の振興に関する事業のために活用する。 【基金活用事業：海外招聘英語指導事業及び教育研究所費】												
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施						
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費					有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名				単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
		指標の説明												
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名				単位	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
指標の説明														

基本事業名	教育委員会の運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会					
基本事業コード	421-01-08			目的	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合		%	児童85.4 生徒84.9	児童84.9 生徒80.0	児童90.0 生徒90.0	
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進		将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合		%	児童84.1 生徒70.0	児童81.3 生徒64.0	児童90.0 生徒75.0	
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		教育振興基本計画策定事務事業						事務事業コード		421-01-08									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育振興基本計画																	
	目的(どうしたいのか)	本市の特色ある教育目標や基本的な施策を定める。																	
	手段(事業内容)	国の教育振興基本計画を踏まえ、教育委員会事務局各課の施策や事業の実施状況の把握を行い、課題や取組みの方向性を明らかにし、効果的な計画策定を図る。																	
特記事項	令和6年度にて教育振興基本計画は策定。令和7年度からは、教育振興基本計画の進捗管理となる。																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	-	達成・終了			R7年度	実施の方向性		-										
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	C	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの必要があると考えられる										
	決算額	事業費					有効性	C	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの必要があると考えられる										
		特定財源等					効率性	C	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの必要があると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	取組事業の点検			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	年1回の事業点検						1	1	0								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	教育振興基本計画の策定完成			単位	%	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度									
	指標の説明	計画策定の進捗率						50		100									

基本事業名	小中学校管理運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校				
基本事業コード	421-02-02			目的	安全で快適な教育環境・学習環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		小中学校物品等管理事務事業					事務事業コード		421-02-02									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	1	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校															
		目的(どうしたいのか)	安全で安定した学校運営が実施されるよう、教育環境を整える。															
		手段(事業内容)	教務活動や学校運営・維持管理上に必要な物品等の購入及び管理に努める。【学校備品購入・児童生徒用机椅子購入・図書購入・ピアノ調律などの業務】															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施					特記事項		【R6年度主な事業費】 ●校具設備備品購入費(小学校) 6,182千円 ●義務教育教材備品購入費(小学校) 3,674千円 ●校具設備備品購入費(中学校) 4,092千円 ●義務教育教材備品購入費(中学校) 1,822千円 【特定財源】 ●理科教育費補助金 470千円		
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	41,290	42,494	35,588		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等	511	568	470		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	学校運営を円滑に行うため実施した業務数			単位	件	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
		指標の説明	実施した業務数							29	25	30						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	学校備品購入数		単位	件	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	学校備品を購入した件数						596	610	449							

基本事業名		小中学校管理運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校							
基本事業コード	421-02-03		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	安全で快適な教育環境・学習環境を確保する。							
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	2	学校教育											
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs				4	教育								
		11	都市						16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		小中学校保健衛生等事務事業				事務事業コード		421-02-03					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校在学児童・生徒、教職員											
	目的(どうしたいのか)	児童、生徒、教職員の健康保持・増進 学校教育の円滑な実施、保護者の医療費負担軽減											
	手段(事業内容)	健康診断、各種検診、学校環境検査、災害共済給付等											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる				
	決算額	事業費			887		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる				
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる				
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名				単位	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名				単位	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	指標の説明												

基本事業名	小中学校管理運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校				
基本事業コード	421-02-04			目的	安全で快適な教育環境・学習環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11 都市				16 平和	17 実施手段		-

事務事業名		小中学校図書館支援事業				事務事業コード		421-02-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	小中学校図書館システム、市立小中学校及び義務教育学校在学児童・生徒										特記事項				
		目的(どうしたいのか)	知性・人間性を広げるために不可欠な図書館教育を充実させる。														
		手段(事業内容)	図書館システムの保守や運営支援、書籍配送事業をすすめることで、子どもたちの読書活動の環境を整える。														
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	3,137	4,634	3,424			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等			0			効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	小学校年間書籍貸出数		単位	冊	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
			指標の説明	小学校及び義務教育学校前期課程での書籍の貸出総数						351,681	371,433	362,716					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	児童1人あたりの貸出数		単位	冊	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	児童が1年間に1人あたり書籍を何冊借りているか						71	76	76						

基本事業名	教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-03-02			目的	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		学校ICT環境整備事業					事務事業コード		421-03-02													
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	3	目	2	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課				
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童及び生徒																				
	目的(どうしたいのか)	ICT教育環境の充実を図り、児童及び生徒のICT活用能力を高める。																				
	手段(事業内容)	国の促進事業に基づきICT教育の環境整備を図る。※ICT(情報コミュニケーション技術)教育とは、情報技術を用いて、学習者に新しいコミュニケーション環境を提供しようとする教育をいう。																				
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施		特記事項 【R6年度主な事業費】 ●教育用コンピュータ機器等借上料 小学校：14,274千円 中学校：9,397千円 ●教育用コンピュータ機器等保守委託料 小学校：15,871千円 中学校：9,092千円 ●ICT環境整備委託料 小学校：1,656千円 中学校：765千円										
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価		妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
	決算額	事業費	101,868	73,681	58,425			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
		特定財源等	23,699	0	0			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
自己評価	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	タブレット端末の整備台数			単位	台		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	児童生徒向けのタブレット端末整備台数																			
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	タブレット端末の整備割合			単位	%		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	児童生徒向けのタブレット端末を整備した割合 整備人数÷児童生徒数×100									100	100	100								

基本事業名	教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-03-03			目的	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		A L Tを活用した外国語教育推進事業					事務事業コード		421-03-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	3	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校 児童・生徒・教職員															
		目的(どうしたいのか)	児童・生徒の言語や発音の向上や、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解を深める。															
		手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> 英語に慣れ親しむ場面での活用・英語の音声指導や英語表現の活用指導 外国の文化や行事、生活習慣、歴史等に関する活動 															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費					有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	ALTの人数		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	A L T (外国語指導助手)の人数						6	6	6							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	ALTの活動日数		単位	日	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	1年間における学校への訪問日数						870	930	920							

基本事業名	教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-03-04			目的	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		人権教育推進事業				事務事業コード		421-03-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校教職員、市人権教育研究会														
		目的(どうしたいのか)	各学校における人権に関する校内研修を充実させることで、子どもたちが安心して学校生活を送れる環境(人権が尊重された学校園づくり)をととのえる。														
		手段(事業内容)	校内研修への講師招聘にあたり、謝礼の支援をする。														
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	293	272	285			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等						効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	人権教育に係る校内研修実施累計数			単位	回	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度				
		指標の説明	人権教育に関する校内研修を実施した数で、学校園の活性化度合いを見取る							145	145	145					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	総会・専門部大会参加教職員数			単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
		指標の説明	人権尊重の学校園づくりをめざす5月総会・2月専門部大会に参加する教職員数で見取る							-	600	600					

基本事業名	教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-03-05			目的	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時（総計）	R5年度 現状値（総計）	R7年度 目標（総計）	
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		保幼小中一貫教育推進事業					事務事業コード		421-03-05									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）		予算科目	会計	1	款	1	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象（誰を・何を）	市立幼稚園、小・中学校、義務教育学校および保育園															
		目的（どうしたいのか）	幼小中11か年に加え保育園での活動も関連付け、中学校区で「めざす子ども像」を共有し、教科学力・学びの基礎力等を関連付けながら、子ども一人ひとりの「生きる力」を育成することを目的とする。															
		手段（事業内容）	全中学校区において、各中学校区の特性を活かした保幼小中一貫教育を推進する。また、横断的なモデルカリキュラムを作成し、校種間の段差等を軽減する。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項						
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費					有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	保幼小中一貫教育の拡充			単位	中学校区		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度				
		指標の説明	中学校区での幼小中一貫教育の取組み									6	6	6				
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	連携会議開催数			単位	回		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度				
		指標の説明	中学校区における一貫教育にかかる連携会議開催数									12	12	12				

基本事業名	教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-03-06			目的	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		姉妹校交流助成事業				事務事業コード		421-03-06										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	羽曳野市立白鳥小学校 5年生・6年生															
		目的(どうしたいのか)	豊かな人間性を育むとともに、地域に誇りを持つ。															
		手段(事業内容)	島根県安来市赤江小学校の児童・教職員・保護者と白鳥伝説を通じた交流を行う。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
	決算額	事業費					有効性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
		特定財源等					効率性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	交流を行う児童数		単位	名	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
			指標の説明	5年生・6年生の参加児童数(白鳥小学校)							71	75						
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	児童の参加率		単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	児童の参加率(参加児童数÷在籍児童数×100)							100	100							

基本事業名	教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-03-08			目的	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11 都市				16 平和	17 実施手段		-

事務事業名		英検IBA受験料助成				事務事業コード		421-03-08						
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立中学校1年生・2年生、義務教育学校7年生・8年生											
		目的(どうしたいのか)	・子どもたちそれぞれが自分自身の英語の能力を知ること、自分自身の学習の見直しなどに役立てることができることともに、英検の取得をめざすことにつなげる ・子どもたちそれぞれの英語の能力を客観的に知ること今後の指導に生かす											
		手段(事業内容)	英検IBAの受験料を補助を受け、受験後のデータを活用する											
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施		特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費	-	363	740		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等	-				効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	英検IBAの受験人数		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
		指標の説明	英検IBAの受験料補助を行い、自分自身の英語力を客観的に把握し、学習意欲につなげることができる生徒の数							-	725	1,479		
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	CEFR A1レベル相当以上の英語力を有していると思われる生徒数の割合		単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
		指標の説明	中学3年生時点で、CEFR A1レベル相当以上の英語力を有していると思われる生徒数の割合							-	34%	42%		

基本事業名		教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-03-09		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11	都市	4	教育	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		特色ある教育推進事業					事務事業コード		421-03-09									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	1	0	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校 児童・生徒・教職員									特記事項						
		目的(どうしたいのか)	「子どものためになる、子どもにこういふ力をつけたい」という理念を基にした特色のある学校づくりの推進を図ることを目的とする。															
		手段(事業内容)	学校に補助金を交付し、支援する。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	0	0	2,135			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等			0			効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	特色ある教育課程の構築度			単位	校	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
		指標の説明	採択校において、独自のカリキュラムや指導法が継続的に導入された割合									8						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	成果の市内波及率			単位	校	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	特色ある教育課程の構築度採択校において、独自のカリキュラムや指導法が継続的に導入された割合									8						

基本事業名	クラブ活動等の活性化推進			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-04-01				目的	心身の健全な育成を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	11 都市			4 教育	16 平和			17 実施手段		-

事務事業名		大会出場等助成事業					事務事業コード		421-04-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	3	目	2	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	生徒及び引率教職員															
		目的(どうしたいのか)	クラブ活動経費の一部を助成することにより、生徒の健全な心身を育み、クラブ活動を奨励する。															
		手段(事業内容)	中学生がクラブ活動で、日本中学校体育連盟が主催する全国中学校総合体育大会及び近畿中学校体育連盟が主催する近畿中学校総合体育大会に出場したとき、旅費及び宿泊費を助成する。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施				特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	657	366	490			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等			0			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	助成金交付申請件数			単位	件	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	助成金の交付申請があった件数						8	8	9							
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	助成金交付件数			単位	件	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明		交付申請に対し、助成金を交付した件数					8		8	9								

基本事業名	クラブ活動等の活性化推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-04-02			目的	心身の健全な育成を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11 都市				16 平和	17 実施手段		-

事務事業名		中学校ブラスバンド助成事業					事務事業コード		421-04-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	3	目	2	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	中学校及び義務教育学校のブラスバンド部																	
	目的(どうしたいのか)	クラブ活動の活性化を図る。																	
	手段(事業内容)	中学校及び義務教育学校のブラスバンド部用楽器の修繕及び購入(隔年)を行う。また、教育委員会後援で市内6中学校共同発表会を年に一度開催する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項 【R6年度事業費】 ●修繕費 850千円 ●LICはびきの利用料 359千円								
自己評価	(単位:千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	1,132	3,090		1,208	有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等				0	効率性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
自己評価	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	修繕要望件数		単位	件		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	楽器の修繕の要望があった件数				37		49	46									
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	修繕件数		単位	件		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	楽器の修繕をした件数				37		49	46									

基本事業名	クラブ活動等の活性化推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-04-03			目的	心身の健全な育成を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち								
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs		11 都市	4 教育		16 平和	17 実施手段		-		

事務事業名		部活動指導者派遣事業				事務事業コード		421-04-03										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	3	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立中学校及び義務教育学校後期課程在学生徒																
	目的(どうしたいのか)	部活動の充実及び教員の資質向上を図る。																
	手段(事業内容)	地域に在住のスポーツ指導者や経験者を派遣し、顧問の教諭等と連携・協力しながら、部活動での技術的な指導をおこなう。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施				特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費	600		582		630			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等								効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	部活動指導者数				単位	人		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
		指標の説明	1年間における各校に派遣した指導者数								15		12		12			
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	部活動指導者派遣回数				単位	回		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
指標の説明		1年間における各校に派遣した回数の合計									363		388		300			

基本事業名	クラブ活動等の活性化推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-04-04			目的	心身の健全な育成を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち							
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	4 教育		16 平和	17 実施手段		-	

事務事業名		クラブ・部活動助成事業				事務事業コード		421-04-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	3	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校 児童・生徒															
	目的(どうしたいのか)	児童・生徒の心身両面での健全育成をめざす。															
	手段(事業内容)	放課後、休日を利用して活動。スポーツや文化活動において、児童・生徒が興味関心を持つことができるクラブを設定し、学年学級の枠を越えて、同じ目標に向かって努力させる。															
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施											
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	7,338	7,026	6,253		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	市立学校クラブ数			単位	数	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	市立学校のクラブ総数						200	200	200						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	クラブ在籍人数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	市立学校のクラブ在籍人数						4,170	3,780	3,662							

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-05-01			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		帰国・外国人児童生徒適応支援事業					事務事業コード		421-05-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	日本語指導が必要な児童・生徒及び保護者																
	目的(どうしたいのか)	渡日間もない児童・生徒の、生活するために必要な日本語(サバイバル日本語)の習得支援および、母語保障をする。																
	手段(事業内容)	通訳及び日本語指導																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施		特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	7,641	11,493	11,833			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等						効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	通訳及び指導時間数			単位	時間	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	1年間における通訳及び日本語指導時間(時間)						6,275	9,577	9,849							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLAの「話すこと」ステージ2以上の人数			単位	名	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	文科省作成の日本語能力を把握するための対話型評価ツール						S2:9 S3:8 S4:3 S5:5	S2:10 S3:19 S4:9 S5:4	S2:5 S3:9 S4:16 S5:7 S6:3								

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-05-02			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		不登校児童生徒適応指導事業					事務事業コード		421-05-02									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	羽曳野市立小中学校及び義務教育学校に在籍する不登校児童・生徒															
		目的(どうしたいのか)	不登校児童・生徒の学校復帰をめざし、小集団活動を通じて、集団への適応力を育成する。															
		手段(事業内容)	①学校と連携した学習支援 ②料理やスポーツ、野外活動などの体験活動 ③本人・保護者との相談活動															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	1,616	1,660	1,847			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等						効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	適応指導教室学習支援活動日数		単位	日	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	1年間における適応指導教室の学習支援活動日数						150	150	150							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	適応指導教室 入所者数(体験含む)		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	1年間における小中学校からの入所者数合計						40	54	55							

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-05-03			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		教育相談事業				事務事業コード		421-05-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内園児・児童・生徒及び保護者、市立学校教職員															
	目的(どうしたいのか)	学校教育活動等における児童及び生徒が有する諸課題に対応するため、専門的な知識を有する者を相談員として設置し、保護者や教職員に対してカウンセリング等を実施する															
	手段(事業内容)	①幼児、児童、生徒の保護者に対し、来室または電話による教育相談に応じる ②教職員に対し、来室または電話による教育相談に応じる															
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施			特記事項								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	1,300	1,267	1,300		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	相談窓口開催日数			単位	日	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	1年間における相談窓口の開催日数						40	40	40						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	教育相談における相談人数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	1年間における相談を受けた人数						126	110	112							

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-05-04			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		進路選択支援事業					事務事業コード		421-05-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内 児童・生徒・保護者																
	目的(どうしたいのか)	経済的な理由で、進学等を断念することがないように支援する。																
	手段(事業内容)	家庭状況および相談内容に応じて、適切な奨学金の活用や手続きについて案内する。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施		特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費	1,569		1,121		1,170			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等	697		697		768			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	相談窓口開催日数				単位	日		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
		指標の説明	1年間における相談窓口の開催日数								91		89		90			
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	進路相談件数				単位	件		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
指標の説明		1年間における進路相談の件数							22		24		20					

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-05-05			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時（総計）	R5年度 現状値（総計）	R7年度 目標（総計）
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		肢体不自由児療育支援事業					事務事業コード		421-05-05									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）		予算科目	会計	1	款	1	項	2	目	1	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校に在籍する、障がいのある児童・生徒																
	目的（どうしたいのか）	市内在住の肢体不自由児をはじめ、障がいのある児童・生徒に対して、円滑な就学と教育の実施に努め、教育の機会均等を図る。																
	手段（事業内容）	西浦小学校、峰塚中学校をセンター校と位置付け介助員を配置する。週1回、機能訓練士を派遣する。児童・生徒の登下校時のスクールバスを運行する。市内支援学級の交流行事の充実を図る。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施		特記事項						
自己評価	(単位：千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費	955		892		905			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等	1,633		1,718		1,855			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	介助員等活動人数				単位	人		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
		指標の説明	対象児童に対する生活介助及び学習支援のための実人数								16		15		15			
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	のべ介助時間数				単位	時間		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
指標の説明		バス介助を除く、生活介助及び学習支援に係るのべ時間							12,043		11,865		10,763					

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-05-06			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		特別支援教育推進事業					事務事業コード		421-05-06									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校に在籍する、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒																
	目的(どうしたいのか)	当該の児童・生徒に対して適切な教育(支援教育)を行う。																
	手段(事業内容)	各学校に支援教育支援員を配置する。支援教育支援員は、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、生活支援、行動支援、学習支援等を行う。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施		特記事項								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	8,155	5,779	5,542		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	支援教育支援員活動校数			単位	校	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	市立学校で、活動に必要な計画書を提出し、支援教育支援員が活動した学校数						19	19	19							
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	支援教育支援員活動状況実績			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明		1年間における市立学校に対し活動した回数					3,333		3,853	3,695								

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-05-07	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。				
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)
施策	2		学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	4 教育			16 平和	17 実施手段	-	

事務事業名		ほっとスクール支援員事業				事務事業コード		421-05-07									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校 児童・生徒															
	目的(どうしたいのか)	学力向上、支援教育充実、不登校・いじめ等防止等、今日的な教育課題解決の一助とする。															
	手段(事業内容)	①教育課程上の教育活動における学習支援、学習指導補助等 ②始業前の自主学習、放課後の自主学習等における学習指導補助等 ③特別な支援を必要とする児童・生徒への介助及び支援等															
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施											
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	985	771	804		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	ほっとスクール支援員の人数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	ほっとスクール支援員の人数						29	24	29						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	ほっとスクール支援員派遣回数			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	1年間における市立学校に対し派遣した回数						657	536	536							

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	421-05-08			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		スクールソーシャルワーカー配置事業					事務事業コード		421-05-08									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校 児童・生徒、保護者及び教職員															
		目的(どうしたいのか)	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーによる児童生徒の置かれた様々な環境への働き掛けによる支援を行う。															
		手段(事業内容)	①校内チーム体制の構築②子どもや学級の状況アセスメントについてSSWからの専門的な助言③福祉部局等関係諸機関との連携とケース会議等の活性化															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	7,269	8,520	8,121			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等	2,349	2,349	2,349			効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	スクールソーシャルワーカー配置人数		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	1年間におけるスクールソーシャルワーカーの配置人数						5	5	5							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	スクールソーシャルワーカー活動日数		単位	日	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	1年間におけるスクールソーシャルワーカーの活動日数						210	210	210							

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-05-09			目的	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市			16	平和	17	実施手段
									-

事務事業名		支援教育介助員事業					事務事業コード		421-05-09									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校に在籍する、障がいのある介助の必要な児童・生徒																
	目的(どうしたいのか)	市内在住の障がいのあり、生活介助等必要な児童・生徒に対して、円滑な就学と教育の実施に努め、教育の機会均等を図る。																
	手段(事業内容)	市内小中学校及び義務教育学校に介助員を配置する。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施		特記事項								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	15	223	393		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	介助員等活動人数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	対象児童に対する生活介助等のための実人数						5	8	10							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	のべ介助時間数			単位	時間	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	生活介助等に係るのべ時間						1,583	4,517	7,218								

基本事業名	子どもの貧困対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	経済的理由等、困難を有する児童・生徒				
基本事業コード	421-06-01	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	教育を受ける機会の均等を図る。				
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)
施策	2		学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	4 教育		16 平和	17 実施手段			-

事務事業名		就学援助等事務事業				事務事業コード		421-06-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市が設置する小中学校に在学する児童・生徒をもつ保護者																
	目的(どうしたいのか)	経済的理由によって就学が困難となっている児童・生徒が、義務教育を円滑に受けられるようにするため。																
	手段(事業内容)	学用品費など必要な費用の一部を援助する。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施				特記事項 【特定財源】 6年度 就学援助 757千円 特別支援就学奨励費 3,143千円				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
	決算額	事業費	79,742	76,504	80,240			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等	3,932	3,478	3,900			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	就学援助受給者数			単位	人		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	就学援助制度の受給児童・生徒数							1,098	1,108	1,076							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	就学援助適正受給者割合			単位	%		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	就学援助制度認定者のうち、適正受給者の割合							100	100	100							

基本事業名	教育体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校の教職員				
基本事業コード	421-07-01	目的		指導力・資質の向上を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画				指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標						
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	4 教育		16 平和	17 実施手段	-		

事務事業名		教職員研修事務事業				事務事業コード		421-07-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校職員															
	目的(どうしたいのか)	学校職員の資質を向上させることにより、子ども・地域にとってよりよい学校にする。															
	手段(事業内容)	大学の先生をはじめ、その道の専門の先生方を招へいして研修を実施する。															
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施											
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	3,583	3,754	3,638		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	研修数			単位	件	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	指標の説明	1年間で実施した研修開催数							41	40	40						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	受講者数			単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	研修に参加したのべ人数							1,320	1,200	1,200						

基本事業名		教育体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校の教職員								
基本事業コード		421-07-02			目的	指導力・資質の向上を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち												
施策	2	学校教育												
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進												
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり												
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり												
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs				4	教育									
		11	都市							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		教育指導専門員事業					事務事業コード		421-07-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	1	款	1	0	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課	
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立小・中学校及び義務教育学校の教員(新任教員・講師)																
		目的(どうしたいのか)	教職員の日々の授業の質を高め、指導力を向上させることにより、子ども・地域にとってよりよい学校にする。																
		手段(事業内容)	教育指導専門員を配置し、法定の初任者研修における研究授業にかかる指導等への指導助言を補助的に実施するもの。																
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施												
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費					有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	初任者研修における指導教員人数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	1年間における指導した初任者及び2年目の教員数						29	33	29								
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	初任者研修にかかる派遣回数			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
指標の説明		1年間における市立学校への派遣回数(延べ)					88		104	79									

基本事業名	教育体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校の教職員				
基本事業コード	421-07-03	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	指導力・資質の向上を図る。				
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	4 教育		16 平和	17 実施手段		-	

事務事業名		教育活動研究等推進事業				事務事業コード		421-07-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校及び義務教育学校 児童・生徒・教職員															
	目的(どうしたいのか)	教職員等で構成する各教科・領域の研究団体に対して、研究等の教育活動を充実させ、その効果を学校教育に活かす。															
	手段(事業内容)	各学校関係団体や学校に負担金や助成金を支給し、支援する。学校関係団体：小学校教育研究会、中学校教育研究会等															
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施											
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	5,087	4,853	4,534		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等			0		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	市内研究会部会数			単位	部会	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	市内の小・中教育研究会専門部会数の合計数						40	40	40						
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	学校満足度	単位	%	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
指標の説明		肯定的回答数÷アンケート回答数×100(%) (学校アンケート等における児童・生徒及び保護者の回答)			88		88	87									

基本事業名	教育環境の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	学校施設					
基本事業コード	422-01-01			目的	安全・安心な学校生活に必要な設備環境の確保と改善を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		学校施設管理事務事業				事務事業コード		422-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	1	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民																
	目的(どうしたいのか)	市立小中学校及び義務教育学校施設の使用について安全な教育環境を提供する。																
	手段(事業内容)	学校運営において経常的に必要となる光熱水費、消耗品費、施設修繕費および保守点検委託等の業務を、適正かつ円滑に執行する。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施		【令和6年度主な事業費】 ●光熱費 173,727千円 ●消耗品費 2,538千円 ●保守点検費 20,072千円 ●施設修繕費 80,534千円 特記事項 【修繕要望件数】 ・令和4年度 355件 ・令和5年度 373件 ・令和6年度 387件								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	240,774	267,859	295,087		有効性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
		特定財源等			0		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	施設修繕実績			単位	件	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	学校要望、保守点検等により指摘があった不備案件のうち、修繕対応済みの件数							302	352	360							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	施設修繕の要望等達成率			単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	修繕実績件数÷要望件数×100							85	94	93							

基本事業名	教育環境の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	学校施設				
基本事業コード	422-01-07			目的	安全・安心な学校生活に必要な設備環境の確保と改善を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11 都市				16 平和	17 実施手段		-

事務事業名		長寿命化改修事業					事務事業コード		422-01-07									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	1	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民															
		目的(どうしたいのか)	市立小中学校及び義務教育学校施設の老朽化等の現状を把握し、学校施設マネジメントプラン(長寿命化計画)を総合的かつ計画的に推進するため、進捗管理を行い、安全な教育環境を提供する。															
		手段(事業内容)	学校施設マネジメントプラン(長寿命化計画)に基づき、老朽化した学校施設の大規模改造及び長寿命化改修を行う。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	E	未実施(開始見込み無し)	R7年度	実施の方向性	実施				特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
	決算額	事業費	13,281	264,479	0		有効性	B	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる									
		特定財源等	9,500	271,500	0		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	長寿命化改修事業の実施学校数		単位	校	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	当該年度に長寿命化改修事業(基本計画等含む)を実施した学校数						1	1	0							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	長寿命化改修率		単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	長寿命化改修率 = 事業完了した学校数 ÷ 6校 × 100						17	17	17							

基本事業名		教育環境の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	学校施設								
基本事業コード	422-01-08		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	安全・安心な学校生活に必要な設備環境の確保と改善を図る。								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	2	学校教育												
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進												
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs				4	教育									
		11	都市							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		市立学校の適正規模化事務事業					事務事業コード		422-01-08									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	項	1	目	1	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	羽曳野市立学校															
		目的(どうしたいのか)	羽曳野市立学校の配置、規模等の適正化															
		手段(事業内容)	羽曳野市立学校適正規模化検討委員会を組織し、①適正規模化のために必要な調査、研究、企画、立案及び調整に関するを行う。②適正規模化に係る基本方針の策定に関するを行う。															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費					有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	羽曳野市立学校適正規模化検討委員会開催回数			単位	回	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	羽曳野市立学校適正規模化検討委員会開催回数					指標実績											
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	羽曳野市立学校適正規模化検討委員会開催回数			単位	回	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	羽曳野市立学校適正規模化検討委員会開催回数					指標実績											

基本事業名	教育環境の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	学校施設						
基本事業コード	422-01-09			目的	安全・安心な学校生活に必要な設備環境の確保と改善を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち									
施策	2	学校教育									
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進									
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs			4	教育							
		11	都市								
					16	平和		17	実施手段	-	

事務事業名		学校プール施設基本構想策定事務事業				事務事業コード		422-01-09				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R6	教育政策課	R7	教育政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民										
	目的(どうしたいのか)	今後の市内学校プールの在り方を検討し、児童生徒の水泳授業の確保を目的とする。										
	手段(事業内容)	プールサイド表面が危険である学校を修繕し、構造上危険である学校は近隣校へ移動し授業を受ける等の対応となる。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施						
特記事項												

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	422-02-01			目的	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育							
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進							
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11 都市				16 平和	17 実施手段		-

事務事業名		中学校給食提供事業				事務事業コード		422-02-01																
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	担当	R6	食育・給食課	R7	食育・給食課						
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立中学校及び義務教育学校後期課程の生徒																					
		目的(どうしたいのか)	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進のために、お弁当を持参できない生徒に栄養バランスを考えた食事を提供する。生徒に「食」の正しい知識を習得させ、適切な判断能力を養う。																					
		手段(事業内容)	保護者(生徒)がパソコン・携帯電話を活用し、予約システムより給食の利用を希望する日を選んで申込みする「選択制」の給食を実施。デリバリー方式・外部民間調理場活用方式とする。																					
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施		特記事項 R6年度は、R7年9月から実施する中学校全員給食の提供開始に向けた給食献立発注システム改修費5,610(千円)の支出があったため、令和5年度と比較して事業費が増加している。													
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる															
	決算額	事業費	51,763	54,535	64,381		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる															
		特定財源等			0		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる															
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	喫食数		単位	食		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度													
	指標の説明	1年間で提供した給食数							74,394	77,396	84,237													
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	栄養バランスのとれた給食の提供数		単位	食		指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度													
	指標の説明	栄養バランスのとれた給食を提供した数							74,394	77,396	84,237													

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	422-02-02			目的	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		小学校給食提供事業				事務事業コード		422-02-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	担当	R6	学校給食センター	R7	学校給食センター
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小学校及び義務教育学校前期課程の児童																
	目的(どうしたいのか)	児童の心身の健全な発達と、食に関する正しい理解と適切な判断力を養成する。																
	手段(事業内容)	日々の小学校及び義務教育学校前期課程の給食の提供において、市教育委員会や羽曳野市学校給食会での献立作成、物資購入、食物アレルギー対策に関する協議に基づき、安全で充実した給食の実施を図る。また、各学校での栄養教諭を中心とした児童や保護者への食育指導に取組む。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施		特記事項 令和4年4月から老朽化の著しい第1学校給食センターを休止。市内8校の調理業務等を民間事業者に委託している状況である。								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	379,054	387,365	438,796		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	給食提供食数			単位	食	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	1日あたりの給食提供食数(5月1日時点、教職員含む)					5,410	5,380	5,226									
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	給食を原因とする健康被害の発生数			単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
	指標の説明	給食への異物や予定しない食物アレルギー物質の混入、及び食中毒により健康被害が生じた喫食者の人数																

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	422-02-03			目的	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		給食センター等施設管理事務事業						事務事業コード		422-02-03									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	担当	R6	学校給食センター	R7	学校給食センター
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	第1学校給食センター、第2学校給食センター																	
	目的(どうしたいのか)	日々の小学校及び義務教育学校前期課程児童への給食の提供を円滑に実施するため、必要となる施設及び調理設備を維持管理する。																	
	手段(事業内容)	施設や設備の定期的な点検や老朽箇所の補修と故障修理、及び、施設運営に必要な供給処理施設を維持管理する。																	
特記事項	令和4年4月から老朽化の著しい第1学校給食センターを休止し、市内8校の調理業務等を民間事業者へ委託している状況である。第2学校給食センターにおいても老朽化が進んでおり学校給食の提供に支障が生じる懸念がある。																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である			R7年度	実施の方向性		実施										
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	30,887	26,633	26,807		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等					効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	修繕回数			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	給食施設・設備の修繕を依頼した回数						26	20	19								
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	給食施設・設備を原因とする給食中止回数			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
指標の説明		給食センターの施設・の不具合により給食の全部または献立の一部を、中止または変更した回数																	

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	422-02-04			目的	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		給食センター整備事業				事務事業コード		422-02-04				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R6	食育・給食課	R7	食育・給食課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	第1学校給食センター、第2学校給食センター、各学校給食室設置備品									特記事項	
	目的(どうしたいのか)	老朽化した施設の新築移転。										
	手段(事業内容)	事業手法の検討も含めた基本計画・基本設計を策定し、デザインビルド方式により整備する。										
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施						

・学校給食センターについては、羽曳野市公共施設等総合管理計画アクションプランに基づき、青少年児童センターと複合化の上、現青少年児童センター運動広場敷地に移転建替えを行う。(R5:基本設計/R6:実施設計・施工/R7:施工/R8:供用開始)

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	422-02-05			目的	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		多子世帯学校給食費助成事業				事務事業コード		422-02-05			
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R6	食育・給食課 R7	食育・給食課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	多子世帯(22歳以下の年齢に達する子を3人以上監護または扶養している世帯)のうち、年齢が上から数えて3番目以降の子が、市立小・中・義務教育学校で学校給食の提供を受けている児童・生徒の保護者									
	目的(どうしたいのか)	多子世帯における保護者の経済的負担を軽減し、市独自の子育て支援策を推進する。									
	手段(事業内容)	受付期間中に申請し、助成要件を満たしている保護者に対し、第3子以降の学校給食費として小学生では低学年47,000円、高学年49,000円を、中学生では学校給食利用者に実費の半額を助成。									
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施		特記事項 ○R6申請件数 610件 ○対象児童(生徒)数の内訳:小学生629名、中学生63名 ○審査結果及び助成額 <交付決定>小学生:586名、中学生:37名 ○助成金総額 24,587,836円 (内訳:小学生23,950,436円 中学生 637,400円) ●その他の事業費 印刷製本費、郵便料			

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒					
基本事業コード	422-02-06			目的	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり ○ (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		中学校給食費の公会計化事業						事務事業コード		422-02-06								
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	担当	R6	食育・給食課	R7	食育・給食課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立中学校及び義務教育学校後期課程の生徒の保護者及び教職員等															
		目的(どうしたいのか)	R7年9月からの中学校全員給食の開始にともない、給食費を市の予算に組み込み直接徴収・管理することで、安定的な給食運営や教員の業務負担軽減、滞納対策の強化を目的とする															
		手段(事業内容)	給食費管理システムにより発注数を確認し給食を提供するとともに、請求額及び徴収額をシステム上で管理する															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項 ※令和7年9月より実施						
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性											
	決算額	事業費					有効性											
		特定財源等					効率性											
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	各期の収納率		単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	各期の請求額に対して徴収した額の割合															
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	年間の収納率		単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	年間の請求額に対して徴収した額の割合															

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒									
基本事業コード	422-02-07	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。									
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	2		学校教育											
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進												
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs			4	教育										
		11	都市							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		食物アレルギー対応検討委員会事業						事務事業コード		422-02-07									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	担当	R6	食育・給食課	R7	食育・給食課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	食物アレルギーを有する児童及び生徒																	
	目的(どうしたいのか)	安全・安心な学校生活を送るため																	
	手段(事業内容)	学校医やアレルギー専門医等をメンバーとする「食物アレルギー対応検討委員会」を組織し、食物アレルギー対応に係る市の基本方針等を策定するとともに、専門家による助言やレビューなどを通じて学校を支援する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である			R7年度	実施の方向性		実施										
		<p>令和7年9月からの中学校給食全員喫食化に向け、令和6年度から新たに大阪府ガイドライン等を踏まえた「食物アレルギー対応検討委員会」を発足。食物アレルギー対応に係る市の基本方針である「羽曳野市学校における食物アレルギー対応の手引き」を策定した。</p>																	

基本事業名	安全安心な学校環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	422-03-01	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	登下校時及び校内での安全を確保する。				
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)
施策	2		学校教育						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市						
					16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		学校安全対策事業				事務事業コード		422-03-01																
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	1	担当	R6	教育政策課	R7	教育政策課							
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童(小学生)																						
	目的(どうしたいのか)	校内の学生生活及び登下校時における不審者等からの安全確保を図る。																						
	手段(事業内容)	正門付近に安全管理員を配置し、門扉の施錠、不審者等発見時の通報、来校者確認の受付業務等を行う。また、新入学児童全員に防犯ブザーを無償貸与する。																						
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施			特記事項															
自己評価	(単位:千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる																
	決算額	事業費	7,801	8,287		8,902	有効性	A									実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等				0	効率性	A									実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
自己評価	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	安全管理員配置日数		単位	日	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
		指標の説明	安全管理員を配置した日数					200	202	203														
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	校内安全達成日数		単位	日	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
		指標の説明	安全管理員を配置したことによる校内安全達成日数					200	202	203														

基本事業名	安全安心な学校環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	422-03-02	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	登下校時及び校内での安全を確保する。				
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	2	学校教育	総合基本計画 目標指標						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs		11 都市	4 教育		16 平和	17 実施手段	-		

事務事業名		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業				事務事業コード		422-03-02									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	10	項	2	目	1	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小学校及び義務教育学校前期課程在学児童															
	目的(どうしたいのか)	子どもたちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。															
	手段(事業内容)	警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱し、各学校を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価や、スクールガードに対する指導等を行う。															
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施			特記事項								
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	453	405	318		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等	360	270	270		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	派遣人数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
		指標の説明	1年間におけるスクールガードリーダーの派遣人数(実人数)						2	1	1						
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	派遣日数			単位	日	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
指標の説明		1年間におけるスクールガードリーダーの派遣日数					86		75	75							

基本事業名	安全安心な学校環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	422-03-03	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	登下校時及び校内での安全を確保する。				
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)
施策	2		学校教育						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
関連SDGs			4	教育					
		11	都市						
					16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		保護者向け連絡ツール事業				事務事業コード		422-03-03						
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立学校に在籍する児童生徒の保護者												
	目的(どうしたいのか)	欠席連絡や学校からの連絡の電子化による保護者の連絡負担の軽減と、教員の朝の電話等対応業務や印刷業務の負担軽減												
	手段(事業内容)	保護者向け連絡ツール「tetoru」の利用												
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施				特記事項 利用料が発生していないため予算科目なし		
自己評価	(単位:千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
	決算額	事業費		0		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる						
		特定財源等				0	効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	保護者登録数		単位	%	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	指標の説明	保護者向けツール登録用紙を発行し、実際登録した割合					0	0	99					
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	連絡配信数		単位	件	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	指標の説明	学校並びに委員会が保護者に連絡配信を行った数							2,850					

基本事業名	教育コミュニティづくり		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域住民及び保護者					
基本事業コード	422-04-01			目的	地域全体で学校教育を支援する。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		私たちのまちの学校園育み事業					事務事業コード		422-04-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	市立幼稚園、小・中学校及び義務教育学校															
		目的(どうしたいのか)	地域住民及び保護者が教育活動の振興を支援し、学校園と地域住民及び保護者が協働関係をもって園児・児童・生徒を育む。															
		手段(事業内容)	①地域の人材を生かした教育活動の充実 ②教育講演会の開催 ③リーフレットの作成、配布															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	2,439	2,766	2,466			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等						効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	校内研修講師招聘人数		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度						
			指標の説明	1年間における地域人材や教育関係者など校内研修講師招聘人数						96	90	90						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	教育講演会や地域清掃活動等の開催校区数		単位	校区	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	1年間における教育講演会や地域清掃活動等の開催校区数						6	6	6							

基本事業名	教育コミュニティづくり		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域住民及び保護者					
基本事業コード	422-04-02			目的	地域全体で学校教育を支援する。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs			4	教育						
		11	都市			16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		コミュニティ・スクール導入事業					事務事業コード		422-04-02									
継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	1	款	1	0	項	1	目	2	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	学校、保護者、地域住民									特記事項						
		目的(どうしたいのか)	コミュニティ・スクールの導入によって、学校・保護者・地域が一体となって子どもを育てる仕組みを構築する															
		手段(事業内容)	①地域人材を生かした教育委活動の充実と教育力の向上 ②学校と保護者・地域との信頼関係の構築 ③学校運営協議会の開催															
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費			84			有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等						効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	地域ボランティア参加人数		単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
			指標の説明	1年間における地域ボランティアとしての活動人数							10							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	地域人材を生かした教育活動の件数		単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	1年間における地域人材を生かした教育活動の件数							20								

基本事業名	野外活動機会の提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	青少年						
基本事業コード	431-01-01			目的	体験活動の充実を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち									
施策	3	子ども・若者育成支援									
施策の方向	1	健やかな成長支援									
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用			
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		ふれあい広場関連事務事業					事務事業コード		431-01-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	2	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	青少年																	
	目的(どうしたいのか)	駒ヶ谷の豊かな自然を享受できる環境で、野外活動を行える場所を提供することで青少年の体験活動の充実を図る。																	
	手段(事業内容)	グレイプヒルスポーツ公園野外活動広場(ふれあい広場)の運営及び親子ふれあいサマーイベントの開催。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度		実施の方向性			実施							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる						
	決算額	事業費	83		21		61			有効性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる						
		特定財源等								効率性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる						
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	ふれあい広場の開設日数				単位	日		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
指標の説明	1年間に施設利用に供した日数								360		360		360						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	利用人数		単位	人		指標実績	令和4年度		令和5年度		令和6年度							
指標の説明	1年間のふれあい広場の利用人数							2,381		3,267		3,652							

基本事業名		健やかな成長を支える環境整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等							
基本事業コード	431-02-01		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	各施設において、地域の子育て・自主活動・健全育成等に対する支援を図る。							
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	3	子ども・若者育成支援											
施策の方向	1	健やかな成長支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		青少年児童センター運営事務事業					事務事業コード		431-02-01										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	0	項	5	目	8	担当	R6	青少年児童センター	R7	青少年児童センター
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	幼児から成人の方まで幅広い年代を対象。																
		目的(どうしたいのか)	青少年の放課後や土曜日、夏休み期間等の安心・安全な居場所づくりの実施。 * 小学生を中心に各種教室を実施し様々な知識・技術等を習得、体験し生涯学習への関心を高める。 * 体育館・運動広場・学習室等の施設を無料で貸し出すことにより自主活動の場を提供する。																
		手段(事業内容)	日曜日～土曜日(年末年始除く。)の午前9時から午後9時30分まで開館。 * 土曜日教室(文化、サッカー、おもしろ)・子育て支援(親子、小学生体操教室)・中学生学力向上教室・夏休みを中心としたこども教室の実施。体育館、運動広場、学習室等の施設貸出(無料)																
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施					特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	決算額	事業費	2,650	2,163	2,176		有効性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
		特定財源等	289	260	357		効率性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる										
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)		指標名	施設利用件数		単位	件	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	1年間で、当センターを利用した件数 (団体への施設貸出延べ件数+文化教室等の主催事業件数)							1,866	1,901	1,799							
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		指標名	施設利用者数		単位	人	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	1年間で、一般開放利用等も含め当センターを利用した人数							30,490	30,583	27,589							

基本事業名		健やかな成長を支える環境整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等								
基本事業コード	431-02-02		第6次羽曳野市総合基本計画		目的	各施設において、地域の子育て・自主活動・健全育成等に対する支援を図る。								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	3	子ども・若者育成支援												
施策の方向	1	健やかな成長支援												
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育		8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		青少年児童センター施設管理事務事業					事務事業コード		431-02-02										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	0	項	5	目	8	担当	R6	青少年児童センター	R7	青少年児童センター
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	青少年児童センターを利用される市内外の方々を対象とする。																	
	目的(どうしたいのか)	「青少年児童センター運営事務事業」の遂行を補完するため、適切な施設・設備の維持管理を行い、利用者が安全に、安心して当施設を利用できるようにする。																	
	手段(事業内容)	来館者が青少年児童センターを安全で安心して利用できるよう、施設の維持管理に努め、可能な限り、補修・修繕については職員で行っている。 * 消防設備・電気設備等の法定点検や保守管理等に専門性の必要な業務や、施設警備・清掃業務等、委託により効率化が見込める業務等、適宜業者に委託している。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施		特記事項							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	12,112	11,966	11,487		有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等					効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	修繕件数			単位	件		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	1年間で修繕を行った件数(職員作業も含む)							30	30	50							
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	事故等発生件数			単位	件		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明		施設利用者の安全・安心につながっている。						0		0	0								

基本事業名		健やかな成長を支える環境整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等								
基本事業コード		431-02-03			目的	各施設において、地域の子育て・自主活動・健全育成等に対する支援を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち												
施策	3	子ども・若者育成支援												
施策の方向	1	健やかな成長支援												
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり												
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり												
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
関連SDGs		1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		白鳥児童館運営事務事業					事務事業コード		431-02-03										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	3	担当	R6	白鳥児童館	R7	白鳥児童館
事務事業の概要		対象(誰を・何を)	乳幼児から小学校に在学する児童、保護者																
		目的(どうしたいのか)	子どもに健全な遊びを与えとともに、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。																
		手段(事業内容)	子育て親子の交流の場の提供、交流の促進、子育て相談等の子育て支援事業。主に小学生を対象にした遊びの場の提供、遊びの指導、工作や体験型教室の開催。地域との連携・交流を深めるイベントの実施。留守家庭児童会白鳥教室の施設提供。																
総計に基づく事業の進捗状況		(R6年度)	A	順調である			R7年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度			個別評価	妥当性	A	実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	512	602	602				有効性	A	事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる								
		特定財源等							効率性	A	事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	施設の開設日数			単位	日	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	1年間に開館した日数						293	293	293								
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	施設の利用人数			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
指標の説明		1年間に施設を利用した人数							6,783	8,025	9,813								

基本事業名	健やかな成長を支える環境整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等								
基本事業コード	431-02-04			目的	各施設において、地域の子育て・自主活動・健全育成等に対する支援を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち											
施策	3	子ども・若者育成支援											
施策の方向	1	健やかな成長支援											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		白鳥児童館施設管理事務事業					事務事業コード		431-02-04										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	3	担当	R6	白鳥児童館	R7	白鳥児童館
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	白鳥児童館																	
	目的(どうしたいのか)	利用者が安全に、快適に施設を利用できる。																	
	手段(事業内容)	施設及び設備の保守・点検、及び清掃、植栽等の環境整備。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度	実施の方向性		実施					特記事項				
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	1,038	1,118	1,518			有効性	A		事業の成果、類似事業との統廃合、上位目標である施策への貢献といった面から、有効であると考えられる								
		特定財源等						効率性	A		事業費削減、人件費削減、受益者負担の割合といった面から、効率的であると考えられる								
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	職員による施設清掃の実施			単位	日		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	開館日は毎日清掃している							293	293	293								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	臨時閉館日数			単位	日		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
	指標の説明	メンテナンス作業等を除き、施設の不備により休館となった日数									0								

基本事業名	地域社会への参加促進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等						
基本事業コード	431-03-01			目的	地域における交流の促進を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画				総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)		
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち									
施策	3	子ども・若者育成支援									
施策の方向	1	健やかな成長支援									
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育			8	経済成長と雇用	
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		夏休みラジオ体操事業					事務事業コード		431-03-01					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子ども、地域(自治会等)												
	目的(どうしたいのか)	夏休みは不規則な生活になりがちのため、地域ぐるみで朝のラジオ体操を実施することで規則正しい生活の確立と、世代間交流、地域コミュニティの活性化をめざす。												
	手段(事業内容)	地域(自治会等)やこども会に、参加カードと参加賞(えんぴつ2本)を配布することでラジオ体操の促進をうながしている。												
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項			

基本事業名	地域社会への参加促進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等						
基本事業コード	431-03-04			目的	地域における交流の促進を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	3	子ども・若者育成支援									
施策の方向	1	健やかな成長支援									
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育		8	経済成長と雇用		
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		20歳のつどい開催事業					事務事業コード		431-03-04									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	2	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	当該年度に20歳になる方																
	目的(どうしたいのか)	社会人としての責任や自覚を促すとともに、これからの人生を自らの力と自主的な判断で歩いていこうとする方々を祝福するために開催する。																
	手段(事業内容)	例年実施していた成人式の運営方式を引継ぎ、成人を祝う式典ではなく20歳を祝福するための事業として実施する。																
総計に基づく 事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施			特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	決算額	事業費	2,630		1,749		1,787			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
		特定財源等								効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる					
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	20歳のつどい案内状の送付数				単位	枚		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
		指標の説明	20歳のつどいの案内状を送付した件数								1,181	1,196	1,145					
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	20歳のつどい出席者数				単位	人		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
指標の説明		20歳のつどいに出席した20歳の方の人数							860		861	874						

基本事業名	多様な学習・体験機会の提供			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等					
基本事業コード	431-04-04				目的	課外における多様な活動の体験を通じて、健全な成長を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち									
施策	3	子ども・若者育成支援									
施策の方向	1	健やかな成長支援									
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用			
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		各種教室等開催(青少年センター)事業					事務事業コード		431-04-04										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	6	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	青少年																	
	目的(どうしたいのか)	学校教育だけでは学ぶことが難しい伝統文化や実技を学び、体験できる場を提供し、伝統文化や実技への関心や興味、学ぶ楽しさを育む。																	
	手段(事業内容)	定期教室(こどもアート、将棋、書道、水彩画)、体験教室(お琴)、夏休み・冬休み短期教室の開催。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B		概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施			特記事項 【事業費】 電気料金 7千円 電話料 93千円 警備委託料 178千円 講師謝礼 929千円 教材費 60千円 消耗品費 47千円 【特定財源】 教室参加費 収入源 230千円							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
	決算額	事業費	1,302	1,756	1,314		有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
		特定財源等	194	204	230		効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる									
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	各種教室開催回数			単位	回		指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	各種教室の開催延べ回数						123	129	131								
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	各種教室の参加人数			単位	人		令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明	各種教室の参加延べ人数					950	1,117	1,139									

基本事業名	困難を有する子ども・若者の支援			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	支援が必要な子ども・若者及び保護者等					
基本事業コード	432-01-01				目的	居場所づくりとともに、抱えている問題の克服・解決を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	3	子ども・若者育成支援									
施策の方向	2	困難を有する子ども・若者の支援									
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用			
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		発達に障害のある児童の居場所づくり事業					事務事業コード		432-01-01									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	1	款	1	項	5	目	1	担当	R6	次世代育成成課	R7	次世代育成成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	支援が必要な児童及びその保護者、羽曳野市留守家庭児童会職員																
	目的(どうしたいのか)	支援が必要な児童やその保護者が、悩みを抱えてしまうことで孤立や虐待につながらないよう支援を行う。留守家庭児童会職員が、支援が必要な児童への関わり方を学ぶことができるようにする。																
	手段(事業内容)	相談窓口の開設。児童センター研徳田のホール開放による居場所づくり。留守家庭児童会職員向けの研修会の実施。保護者が社会性を育む子育ての仕方を学ぶ研修会、講演会。																
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である		R7年度		実施の方向性		実施			特記事項					
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる							
	決算額	事業費	5,000	5,000	5,000			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる							
		特定財源等	5,000	5,000	5,000			効率性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる							
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	支援が必要な児童の居場所づくり			単位	回	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明	児童が様々な遊びができるようにホールを開放している。保護者の相談も行うことができる。						5		10	10								
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	支援が必要な児童の保護者への相談支援			単位	人	指標実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
指標の説明	児童センター研徳田にて開設している相談窓口、学童保育、ホール開放において相談支援を行った保護者の延べ人数。							640	844	824								

基本事業名	困難を有する子ども・若者の支援			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	支援の必要な子ども・若者及び保護者等							
基本事業コード	432-01-02				目的	居場所づくりとともに、抱えている問題の克服・解決を図る。							
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち											
施策	3	子ども・若者育成支援											
施策の方向	2	困難を有する子ども・若者の支援											
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		児童養護施設退所児童進学応援奨学金事務事業						事務事業コード		432-01-02									
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	1	担当	R6	こども政策課	R7	こども政策課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童養護施設退所児童																	
	目的(どうしたいのか)	児童養護施設退所児童の進学に係る奨学金を支給することにより、修学意欲の向上を図り、社会的自立を支援する。																	
	手段(事業内容)	市内の各児童養護施設から各年度ごとに各1名を選考して、大学等の修業年限を限度として返済義務のない奨学金月額5万円を支給する。																	
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	D		遅れている			R7年度		実施の方向性			実施				特記事項			
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる								
	決算額	事業費	1,200	600	0			有効性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる								
		特定財源等	1,200	600	0			効率性	B		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、見直しの余地があると考えられる								
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	児童養護施設退所児童の進学人数			単位	人		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	児童養護施設退所児童の大学等への進学者数									2	1	0						
成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	進学者への奨学金支給金額			単位	千円		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度						
	指標の説明	児童養護施設退所児童の進学者への奨学金支給金額									1,200	600	0						

基本事業名	困難を有する子ども・若者の支援			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	支援の必要な子ども・若者及び保護者等					
基本事業コード	432-01-03				目的	居場所づくりとともに、抱えている問題の克服・解決を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち									
施策	3	子ども・若者育成支援									
施策の方向	2	困難を有する子ども・若者の支援									
まちづくりの戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○ (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用			
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		子どもの居場所づくり事業					事務事業コード		432-01-03										
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	8	担当	R6	子ども家庭支援課	R7	子ども家庭支援課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	生活に困窮している家庭の子ども等																	
	目的(どうしたいのか)	生活に困窮している家庭の子ども等の基本的な生活習慣づけを支援する。																	
	手段(事業内容)	学習支援をはじめ、相談事業等をすすめ、子どもが安心して過ごせる居場所を地域と連携しながら確保し支援することを目的とする団体に対して、その運営に係る経費等の補助を行う。																	
特記事項	【事業費】 補助金：1,471千円 【特定税源】 母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金：978千円																		
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B		概ね順調である			R7年度	実施の方向性		実施									
自己評価	(単位：千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	決算額	事業費	1,150	1,150	1,471			有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
		特定財源等	1,150	1,071	978			効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる								
	活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	実施団体の数			単位	力所	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
		指標の説明	制度の趣旨に則し、事業を実施している。							5	5	7							
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	交付申請に対する交付決定割合			単位	%	指標実績		令和4年度	令和5年度	令和6年度							
指標の説明		申請内容に基づき、決定審査を行い、交付決定を行っている。(認定件数/申請件数)					100			100	100								

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども・若者及び保護者				
基本事業コード	433-01-01				目的	社会全体で健全な育成を支援する。				
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策	3	子ども・若者育成支援				学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)	人	43,919	7,529	53,000
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育		8	経済成長と雇用	
							16	平和	17	実施手段
										-

事務事業名		青少年健全育成関連団体支援事業					事務事業コード		433-01-01				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当 R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	青少年の健全育成に取り組む関係団体											
	目的(どうしたいのか)	市内の関係団体との協働により、家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組めるようにする。											
	手段(事業内容)	市青少年健全育成推進協議会、市青少年指導員連絡協議会、市こども会育成連絡協議会、市青少年リーダー会、市PTA連絡協議会の各団体への助成金の交付、その他日常活動への支援を行う。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である		R7年度	実施の方向性		実施					

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども・若者及び保護者								
基本事業コード	433-01-02	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	社会全体で健全な育成を支援する。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	3		子ども・若者育成支援	総合基本計画 目標指標	学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)	人	43,919	7,529	53,000				
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備											
まちづくりの 戦略	<input type="radio"/>	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	<input type="radio"/>	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	<input type="radio"/>	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		放課後子ども教室事業				事務事業コード		433-01-02					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	小学生、地域住民											
	目的(どうしたいのか)	放課後や週末等に学校の施設を利用して、子どもたちの安全で安心な活動場所を確保し、様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育む。また学校を核として地域コミュニティの活性化をめざす。											
	手段(事業内容)	市内14小学校及び義務教育学校区で地域住民を中心として実行委員会を組織し(構成団体:育成協、福祉委員会、婦人会、老人会、厚生保護女性会、PTA等)、子どもたちにスポーツ、文化活動、様々な遊び、地域ボランティアとの交流等の多様な活動を体験する機会を提供する。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							
特記事項 校区により実施回数に差はあるが、各校学期に1回、年3回を目安に実施している。開催回数を増やすことだけでなく、地域ボランティアを増やし安定した活動を継続することも重要である。													

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども・若者及び保護者								
基本事業コード	433-01-03	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	社会全体で健全な育成を支援する。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策	3		子ども・若者育成支援	学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)		人	43,919	7,529	53,000				
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備											
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		学校支援地域本部事業					事務事業コード		433-01-03				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子ども(主に公立小・中学校及び義務教育学校に通う児童生徒)、小・中学校及び義務教育学校、地域住民											
	目的(どうしたいのか)	地域と学校が連携協働して、校区内の小中学校及び義務教育学校の学校運営や教育活動への地域住民による支援活動の促進と調整を行う。											
	手段(事業内容)	各校区に地域コーディネーターを配置し、学校の教育活動に対する組織的なボランティア支援を行える環境作りをすすめるとともに、各学校での学習支援、環境整備、部活動指導、登下校の見守り等の取り組みをすすめる。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども・若者及び保護者					
基本事業コード	433-01-04				目的	社会全体で健全な育成を支援する。					
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)		人	43,919	7,529	53,000		
施策	3	子ども・若者育成支援									
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備									
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用			
							16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		家庭教育支援事業				事務事業コード		433-01-04				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当 R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	幼児・児童の子をもつ保護者										
	目的(どうしたいのか)	子育てに関する学習機会・情報の提供をとおして、保護者が身近な地域で家庭教育に関する学習、気づきや発見を得ることで、家庭教育力の向上を図るとともに、地域や保護者同士の関係づくりをすすめる。										
	手段(事業内容)	保護者同士や地域の人と一緒に親と子の関係や子育ての楽しさについて学習機会を提供し、また情報提供を行うなど「交流と気づきの場」として、地域の親学習リーダー(大阪府の養成講座や類似講座の修了者)により、「親学習」講座を開催										
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である	R7年度	実施の方向性	実施						

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども・若者及び保護者								
基本事業コード	433-01-05	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	社会全体で健全な育成を支援する。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	3		子ども・若者育成支援	総合基本計画 目標指標	学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)	人	43,919	7,529	53,000				
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備											
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		青少年健全育成啓発等事業				事務事業コード		433-01-05					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民、青少年健全育成に取り組む関係団体の構成員											
	目的(どうしたいのか)	家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組めるよう、市内関係団体の協働関係の強化と啓発をすすめる。											
	手段(事業内容)	7月の「青少年の非行・被害防止全国協調月間」及び11月の「子ども・若者育成支援推進協調月間」において関係団体と協働して啓発活動に取り組む。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども・若者及び保護者								
基本事業コード	433-01-06	第6次羽曳野市総合基本計画		目的	社会全体で健全な育成を支援する。								
施策目標	4			未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)				
施策	3		子ども・若者育成支援	総合基本計画 目標指標	学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)	人	43,919	7,529	53,000				
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備											
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
		(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		子どもの安全確保事業					事務事業コード		433-01-06				
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子ども、子どもの安全見守りに参加する地域住民等											
	目的(どうしたいのか)	地域住民等による自発的な協力により、地域ぐるみで子どもの安全を見守る環境をつくり、登下校時における子どもの安全確保と地域の犯罪防止及び犯罪抑止につなげていく。											
	手段(事業内容)	児童の安全見守り活動参加者の傷害保険事務等の活動支援。各種団体(校区育成協、PTA、町会等)の協力により「みまもってるよ。こども110番」プレートを配布。(建物や自転車等に掲示し子どもの安全な環境づくりへの協力意思を示してもらう)											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施							

基本事業名	放課後・課外環境の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童					
基本事業コード	433-02-01			目的	放課後・課外における、安全で快適な居場所づくりを図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名		単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)	
施策	3	子ども・若者育成支援		留守家庭児童会の待機児童数		人	0	0	0	
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備								
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用		
							16	平和	17	実施手段
										-

事務事業名		放課後児童健全育成事業				事務事業コード		433-02-01					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	就労等により保護者が昼間家庭にいない児童及び保護者											
	目的(どうしたいのか)	就労や疾病等により保護者が放課後家庭にいない、小学校または義務教育学校前期課程の児童を対象として、児童の安全を守り、遊びや異年齢との集団生活を通して、健康で自主性や社会性を備えた豊かな人間性を育て、児童の健全育成をすることを目的とする。											
	手段(事業内容)	市内12小学校、1義務教育学校及び1児童館に留守家庭児童会(学童教室)を開設。開会時間は、平日は放課後から午後5時まで、学校休業日(夏休み等)は、午前8時30分から午後5時まで、延長利用(平成26年5月1日より開始)は、午後5時から午後6時30分まで実施。											
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A	順調である	R7年度	実施の方向性	実施		特記事項					

基本事業名	放課後・課外環境の充実			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童							
基本事業コード	433-02-03				目的	放課後・課外における、安全で快適な居場所づくりを図る。							
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)			
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		留守家庭児童会の待機児童数		人	0	0	0				
施策	3	子ども・若者育成支援											
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備											
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり											
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり											
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用	16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		留守家庭児童会運営支援事業						事務事業コード		433-02-03											
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)			予算科目	会計	1	款	1	0	項	5	目	1	1	担当	R6	次世代育成課	R7	次世代育成課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	留守家庭児童会職員及び市内13小学校及び1義務教育学校の留守家庭児童会入会児童																			
	目的(どうしたいのか)	児童会職員求めに応じた助言、援助を通して教室運営の支援																			
	手段(事業内容)	各留守家庭児童会の教室にて、次世代育成課職員が中心となり、有償ボランティアの退職教員スタッフ(2名)と、基本的には退職教員は毎週、次世代育成課職員は月2回児童会への訪問を実施。																			
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	A		順調である			R7年度	実施の方向性		実施				特記事項 運営支援事業となるので、事業費は行政協力者謝礼の決算額を反映。なお市職員の人件費は加算せず。							
自己評価	(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	個別評価	妥当性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
	決算額	事業費	323	220	230		有効性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
		特定財源等					効率性	A		実施の主体、水準や手段、事業廃止や休止の影響といった面から、妥当であると考えられる											
活動指標 (目的達成のために、何をどれだけ行ったか)	指標名	運営支援実施場所			単位	クラス		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度								
		指標の説明		運営支援を実施したクラス数			30				30	31									
	成果指標 (実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)	指標名	運営支援実施回数			単位	回		指標実績			令和4年度	令和5年度	令和6年度							
			指標の説明		留守家庭児童会運営支援を実施した回数			240				240	240								

基本事業名	放課後・課外環境の充実			基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童				
基本事業コード	433-02-04				目的	放課後・課外における、安全で快適な居場所づくりを図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28年度 策定時(総計)	R5年度 現状値(総計)	R7年度 目標(総計)
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		留守家庭児童会の待機児童数		人	0	0	0	
施策	3	子ども・若者育成支援								
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備								
まちづくりの 戦略		(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								
関連SDGs	1	貧困	3	保健	4	教育	8	経済成長と雇用		
						16	平和	17	実施手段	-

事務事業名		小学校校庭放課後開放事業					事務事業コード		433-02-04					
継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)		予算科目	会計	款	項	目	担当	R6	学校教育課	R7	学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	幼児、児童、保護者												
	目的(どうしたいのか)	放課後の校庭を開放することで、子どもや保護者の放課後の遊び場としての場を提供する。												
	手段(事業内容)	放課後の校庭を開放する。												
総計に基づく事業の進捗状況	(R6年度)	B	概ね順調である		R7年度	実施の方向性		実施						